

2 0 2 3 年

(2 0 2 3 年 1 月～2 0 2 3 年 11 月)

4 ・ 5 年次臨床実習 1 (B S L) ガイド

神戸大学医学部医学科

目次

1, はじめに	1
2, 臨床配属学生の手術部における実習についての心構えと注意	2
3, 剖検ならびに剖検会への参加について	3
4, 臨床実習 1 (BSL) 成績評価について	4
5, 2023 年 4・5 年次臨床実習 1 (BSL) 実習評価表	5
6, 4・5 年次臨床実習 1 (BSL) 日程・ローテート表・グループ編成表	6
7, 実習科目別ガイド／ユニット別予定表	
ユニット A 消化器 1	消化器内科・病理学 8
消化器 2, 3	食道胃腸外科・肝胆膵外科・乳腺内分泌外科 9
ユニット A 予定表	12
ユニット B 整形・リハ	整形外科・リハビリテーション科 14
神経 2	脳神経外科 16
口腔	歯科口腔外科 17
ユニット B 予定表	18
ユニット C 救急・小児外科	救命救急科・小児外科 21
総合内科	総合内科 24
臨検	検査部 27
ユニット C 予定表	28
ユニット D 免疫	膠原病リウマチ内科 32
腎	腎臓内科 33
泌尿器	泌尿器科 34
放射線	放射線診断・IVR 科、放射線腫瘍科 35
ユニット D 予定表	36
ユニット E 呼吸器 1	呼吸器内科 40
呼吸器 2	呼吸器外科 41
糖内	糖尿病・内分泌内科 42
感染	感染症内科 43
ユニット E 予定表	44
ユニット F 生殖・周産期	産科婦人科 48
発達	小児科 52
ユニット F 予定表	55
ユニット G 循環器 1	循環器内科 57
循環器 2	心臓血管外科 58
麻酔	麻酔科 59
ユニット G 予定表	61
ユニット H 耳鼻	耳鼻咽喉・頭頸部外科 64
形成	形成外科 66
眼	眼科 67
皮膚	皮膚科 68
ユニット H 予定表	69
ユニット I 神経 1	脳神経内科 73
腫瘍血液	腫瘍・血液内科・輸血部 74
精神	精神科神経科 75
ユニット I 予定表	76
8, 医学部の臨床実習において実施可能な医行為の研究 報告書	79
9, 感染関連の連絡・報告・注意	81
10, 臨床実習におけるアイ・シールド（ゴーグル）着用の遵守について	83
11, 医学部医学科学生に対する個人情報の管理に関する指針・注意	84
患者さんの個人情報の保護に関する誓約書、医療情報端末利用に関する誓約書、	
リモート端末を用いた臨床実習教育の履修に関する誓約書、遠隔での診療・教育	
および研究のための撮影・映像送信に関する説明書・同意書	
12, 欠席の取り扱いについて	90
13, 各フロア配置図	91
14, 出席表（ひな形）	93
15, 4・5 年次臨床実習 1 (BSL) に向けた目標（班/個人）	95

臨床実習 (bed side learning : BSL)では、文字通り bed sideにおいて診療チームに参加し、医師として必要な知識、思考法(臨床推理)、技能(スキル)、態度の基本的な内容を学ぶことを目的とする。病める患者さんを直接相手にした実習を通じて、医療現場で必要とされる対応力など実践的な臨床能力を養う。病み・苦しむ人とのコミュニケーションの方法を含め、全人的医療を遂行するための行動法を先輩医師の直接指導のもとに習得する。また、先輩医師の行動を観察して座学では学べない、医師としてのプロフェッショナリズム(倫理的実践、内省/自己認識、行動に対する責任、患者への敬意、チームワーク、社会的責任)の基本も学ぶ。

実際には、医療面接、身体診察、診断的・治療的手技、診療録の記録、症例提示、総合判断能力などの臨床技能、社会的背景の違う患者への対応、臨床推論などの知識の使い方、情報収集の方法を学習する。さらに、チーム医療の遂行に大切な、医療チームの構成員とのコミュニケーションや協調に関する能力や態度も習得する。

大学病院での実習のみでは不足する部分を補完するため、地域と大学が協力して行う地域基盤型臨床実習(学外実習)をさらに充実させている。いくつかのサブユニットでは地域の診療所においてプライマリケアの外来診療実習、在宅医療、予防医療、生活支援などについて学習する。

BSL において最も重要な点は、実際の症例から自己啓発に基づいた学習をすることである。症例に直面し、自己の知識を点検・整理すると共に、直面する疑問点から学習課題を自ら抽出しその都度解決していく姿勢は、昨年度のチュートリアル/PBL(problem based learning)による問題解決型学習の延長であり、実際に役立つ知識を得るための最短距離である。また、客観的臨床能力試験(Objective Structured Clinical Examination: OSCE)に対応した実習も各々のサブユニットで継続してスキルアップして欲しい。

診療科単位を超え系統的に実習・学習が出来るように9つのユニットから構成されている。1ユニットは4週間で、4-5のサブユニットのBSLを行うが、時間割はサブユニット毎に週割で分断されたものではなく、各サブユニットの特徴を生かせるように工夫されている。さらに自学自習を行い、幅広い知識を身につけることを推奨する。各ユニットにおいて先端的情報も含む様々な講義・セミナーも組まれている。教員との密接な交流を通じて新しい知識の吸収にも努力し、真に充実したBSLとなるよう、積極的な姿勢で臨むことを希望する。

臨床配属学生の手術部における実習についての心構えと注意

1. 外科学系診療科における最も重要な治療である手術を行う場であることを銘記すること。
2. 多くの医師，看護師，臨床工学技士等の医療従事者が，各々職務を尽くしており，その職務を妨げないよう注意すること。
3. 細心の注意をもって清潔・不潔の別を守り，私語は慎み，手術室内では職員の指示に従うこと。
4. 手術室に入るには，各配属診療科指導医の引率の下に次に事項に注意すること。
 - 1) 院内履き（白を基調としたスニーカータイプの足全体が覆える安全で安楽なもの）で更衣室に入る。
 - 2) 学生用室内着（ライトブルー）に着替える（パンツ等以外は全て着替える）。自分の着衣は，ロッカーに入れ、番号確認し、鍵を正しくかける。
 - 3) 帽子・マスク・靴下を正しくつける。手術帽からはみ出る長髪者の入室は許さない。
 - 4) 手持品（小型ノート・ペン）以外は，手術室内に持って入らない。
 - 5) 衛生的手洗いの後、備えつけのヒビソフトにて手指を消毒後手術部内廊下に入る。予定の手術室内に適宜入り，指導医の指示に従って実習の成果をあげる。
 - 6) 清潔の器械・器具に近づく時は十分に注意する。
 - 7) 手術時手洗いをして、手術に入る際には、必要に応じて、手術部廊下にて、予めディスポのシューカバーを着用する。また、目のゴーグルつきのサージカルマスクを着用する。
 - 8) 昼食等で一旦不潔になり再入室する時は，前項のとおり再び行う。
 - 9) 使用済の室内着は，緑のランドリーボックスにいれ、帽子・マスクは専用のゴミ箱に捨てる。
5. 以上，臨床医学基本実習で学んだ手術部への入り方、出方を遵守する。

剖検ならびに剖検会への参加について

臨床医学の発展と医科学の進歩における剖検（病理解剖）の果たしてきた役割は多大なものがあり、診断技術の発達した今日においてもその意義は大きいことは言うまでもない。また、剖検に参加して患者の死という厳粛な事実と医療者として対面することは、学生にとっても貴重な体験である。さらに、各分野の認定医や専門医の申請にも剖検が条件として関わってくることも多く、諸君にとっても重要な実習と位置づけられる。

従来、剖検および剖検会への参加を臨床病理実習で行なってきたが、現在は病理実習が特定のユニットに分散されている。そこで、学生諸君は各ユニットにおいて、当該診療科の症例の剖検および剖検会へ、当該科教員の指導の下に適宜機会を捉えて参加することとなる。上記の剖検・剖検会の意義を十分に理解したうえで、積極的に参加し成果を挙げて欲しい。

特に、剖検は予定されたスケジュールでは行われないので、参加が困難な事態も予想されるが、できる限り機会を捉えて参加するように望みたい。原則として、少なくとも1回以上の参加が必須であると考えてもらいたい。

臨床実習 1(B S L)の成績評価について

1, 臨床実習 1(B S L)の単位認定及び成績記録について

1-1, 臨床実習 1(B S L)の単位は36単位であり、臨床実習 1(B S L)全サブユニットの「合格」をもって認定する。

1-2, 臨床実習 1(B S L)の成績は、全サブユニットの総合点数(100点満点換算)に基づき記録する。

1-3, 臨床実習 1(B S L)の成績において、小数点以下の端数が生じた場合は、これを切り捨てる。

2, 臨床実習 1(B S L)サブユニットの合否判定について

2-1, 各サブユニットは、実習を実施する。

2-2, 各サブユニットの合否判定は、「実習評価の点数」(100点満点換算)により行い、60点以上を合格とする。

2-3, 2-2において、小数点以下の端数が生じた場合は、これを切り捨てる。

2-4, 各サブユニットの合否判定が不合格の場合、補習及び再合否判定を行う。ただし、全クール終了時に不合格となっているサブユニットの実習週の合計が4週間を超える場合は、当該サブユニットは「不合格」とする。補習及び再合否判定の方法は当該サブユニットの裁量とする。

2-5, 各サブユニットの再合否判定の結果が不合格の場合、当該サブユニットは「不合格」とする。

3, 臨床実習 1(B S L)不合格の場合の取り扱いについて

臨床実習 1(B S L)実習評価において、1つ以上のサブユニットで「不合格」となった場合は臨床実習 1(B S L)不合格となる。不合格となった者は5年次に移籍し、4月以降の臨床実習 1(B S L)の全てを再履修する。なお、不合格科目を全て再履修できるように配属を配慮する。

2023年 4・5年次臨床実習1(BSL) 実習評価表

神戸大学医学部医学科

診療科		科			学籍番号		
評価者		氏名			年 月 日より 月 日まで		
実習期間							
	共通評価項目	1: unacceptable できない、劣る	2: acceptable できる、普通	3: good よい	4: excellent 優れている	5: outstanding 非常に優れている	N.A.: not applicable 評価外
1)	医療面接	1	2	3	4	5	N.A.
2)	身体診察	1	2	3	4	5	N.A.
3)	診療記録	1	2	3	4	5	N.A.
4)	症例の理解	1	2	3	4	5	N.A.
5)	コミュニケーション力	1	2	3	4	5	N.A.
6)	診療態度、責任感	1	2	3	4	5	N.A.
7)	自己学習態度	1	2	3	4	5	N.A.
8)	症例プレゼンテーション	1	2	3	4	5	N.A.

	診療科評価項目 (##科)	1: unacceptable できない、劣る	2: acceptable できる、普通	3: good よい	4: excellent 優れている	5: outstanding 非常に優れている	N.A.: not applicable 評価外
1)		1	2	3	4	5	N.A.
2)		1	2	3	4	5	N.A.
3)		1	2	3	4	5	N.A.
4)		1	2	3	4	5	N.A.
5)		1	2	3	4	5	N.A.

合計* 点

※診療科評価項目には、診療科ごとに設定した評価項目が入る。
(各ユニットの実習科目別ガイドを参照)

2023年1月～11月 臨床実習1週割表

		サブユニット名 ※実習評価・科目別試験対象科目	ユニットA			ユニットB			ユニットC			ユニットD				ユニットE				ユニットF		ユニットG			ユニットH				ユニットI					
			消化器1	消化器2	消化器3	整形	神経2	口腔	救急・小児外科	総合内科	臨検	免疫	腎	泌尿器	放射線	呼吸器1	呼吸器2	糖尿・内分泌	感染	生殖・周産期	発達	循環器1	循環器2	麻酔	耳鼻	形成	眼	皮膚	神経1	腫瘍血液	精神			
			ユニット構成診療科等名			消化器内科			整形外科			救命救急科			膠原病リウマチ内科				呼吸器内科				産科婦人科		循環器内科			耳鼻咽喉・頭頸部外科				脳神経内科		
						病理部			脳神経外科			小児外科			腎臓内科				呼吸器外科				小児科		心臓血管外科			形成外科			腫瘍血液内科			
						食道胃腸外科			歯科口腔外科			総合内科			泌尿器科				糖尿病・内分泌内科						麻酔科			眼科			輸血部			
						肝胆膵外科						検査部			放射診断・IVR科				感染症内科									皮膚科			精神科神経科			
乳腺内分泌外科												放射線腫瘍科																						
第1クール	第1週	1月23日～1月27日	1班			9班			8班			7班				6班				5班		4班			3班				2班					
	第2週	1月30日～2月3日																																
	第3週	2月6日～2月10日																																
	第4週	2月13日～2月17日																																
第2クール	第1週	2月20日～2月24日	2班			1班			9班			8班				7班				6班		5班			4班				3班					
	第2週	2月27日～3月3日																																
	第3週	3月6日～3月10日																																
	第4週	3月13日～3月17日																																
第3クール	第1週	4月3日～4月7日	3班			2班			1班			9班				8班				7班		6班			5班				4班					
	第2週	4月10日～4月14日																																
	第3週	4月17日～4月21日																																
	第4週	4月24日～4月28日																																
第4クール	第1週	5月8日～5月12日	4班			3班			2班			1班				9班				8班		7班			6班				5班					
	第2週	5月15日～5月19日																																
	第3週	5月22日～5月26日																																
	第4週	5月29日～6月2日																																
第5クール	第1週	6月5日～6月9日	5班			4班			3班			2班				1班				9班		8班			7班				6班					
	第2週	6月12日～6月16日																																
	第3週	6月19日～6月23日																																
	第4週	6月26日～6月30日																																
第6クール	第1週	7月3日～7月7日	6班			5班			4班			3班				2班				1班		9班			8班				7班					
	第2週	7月10日～7月14日																																
	第3週	7月17日～7月21日																																
	第4週	7月24日～7月28日																																
第7クール	第1週	9月4日～9月8日	7班			6班			5班			4班				3班				2班		1班			9班				8班					
	第2週	9月11日～9月15日																																
	第3週	9月18日～9月22日																																
	第4週	9月25日～9月29日																																
第8クール	第1週	10月2日～10月6日	8班			7班			6班			5班				4班				3班		2班			1班				9班					
	第2週	10月9日～10月13日																																
	第3週	10月16日～10月20日																																
	第4週	10月23日～10月27日																																
第9クール	第1週	10月30日～11月3日	9班			8班			7班			6班				5班				4班		3班			2班				1班					
	第2週	11月6日～11月10日																																
	第3週	11月13日～11月17日																																
	第4週	11月20日～11月24日																																
※ 祝日を除く。																																		

2023年1月～11月

[illegible]

ユニット	ユニット A
サブユニット名	消化器1(消化器内科・病理学)
BSL担当教員 ／連絡先	井上 潤 (連絡先: 研究棟 A6F 医局 (6-010 号)/内線 6305, PHS 71532)
実習担当教員	内科学講座 消化器内科学分野 児玉 祐三 教授 上田 佳秀 特命教授 森田 圭紀 特命准教授 矢野 嘉彦 講師 星 奈美子 講師 増田 充弘 講師 飛松 和俊 助教 大井 充 助教 小林 隆 特定助教 酒井 新 特定助教 光学医療診療部 豊永 高史 准教授 鷹尾 俊達 特定助教 井上 潤 助教
実習概要	消化器1では、各種消化器疾患すなわち食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓疾患の診断と治療を幅広く扱います。対象疾患としては、食道癌・胃癌・大腸癌・胆道癌・膵臓癌・肝臓癌などについて内視鏡、超音波を用いた各種検査、内科的治療（内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術、胆膵内視鏡治療、経皮的ラジオ波焼灼術、癌化学療法など）を行うとともに、放射線科や外科と共同で集学的治療に取り組んでいます。また、潰瘍性大腸炎、クローン病、原発性胆汁性胆管炎、急性肝不全、重症急性膵炎などの難治性特定疾患に対する治療も広く行っています。 本BSLでは、これらの患者を実際に主治医団の一員として担当することで、これまでのチュートリアル教育で身につけた問題解決型自己学習法を実践し、問診、各種検査、診断、治療の実際、患者へのインフォームドコンセント等の実際の医療の流れを生で感じ取ってもらいたいと思います。学生諸君には単なる「診療の見学」ではなく、積極的な「診療への参加」を期待しています。
到達目標	・担当症例の健康上のプロブレムを抽出し、症候および病態から疾患にアプローチできる。臨床推論に必要な病歴聴取、身体診察、検査の列举を行うことができる。 ・担当症例の疾患の診断と治療について説明できる。 ・消化器内視鏡検査（上部および下部消化管内視鏡検査、内視鏡的逆行性胆管膵管造影、超音波内視鏡検査）から得られる情報を説明できる。 ・腹部超音波検査において、基本的な走査ができる。
実習評価	評価は全カリキュラムへの出席を最低条件とします。無断欠席・遅刻は不合格の対象とします。やむを得ず欠席・遅刻する場合は事前に担当教員に届け出を行って下さい。評価については、出席、実習態度、レポート評価等を基に総合的に判断します。
科目別試験	行いません。実習の評価で合否を判定します。
オリエンテーション	・A グループ：第1週の月曜日、午前10時00分、B講義室 ・B グループ：第3週の月曜日、午前10時00分、B講義室 （尚、月曜日が祝日の場合は火曜日のカンファレンス前に行います。午前8時15分に8階病棟カンファレンス室に集合してください。）
服装に関する留意事項	マスクは必ず着用してください。

ユニット	ユニット A																																																																																																
サブユニット名	消化器2, 消化器3(食道胃腸外科、肝胆膵外科、乳腺外科)																																																																																																
BSL担当教員 ／連絡先	肝胆膵外科 小松 昇平（連絡先：肝胆膵外科学分野／内線 6302, PHS 73115） 食道胃腸外科 澤田 隆一郎（連絡先：食道胃腸外科学分野／内線 5925, PHS 73010） 乳腺内分泌外科 三木 万由子（連絡先：乳腺内分泌外科学分野／内線 6302, PHS 73227）																																																																																																
実習担当教員	<table><tr><td>外科学講座</td><td>肝胆膵外科学分野</td><td>福本 巧</td><td>教授</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>外山 博近</td><td>准教授</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>後藤 直大</td><td>講師</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>蔵満 薫</td><td>助教</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>小松 昇平</td><td>助教</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>津川 大介</td><td>助教</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>権 英寿</td><td>特定助教</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>福島 健司</td><td>特定助教</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>浦出 剛史</td><td>特定助教</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>南野 佳英</td><td>特命助教</td></tr><tr><td></td><td>食道胃腸外科学分野</td><td>掛地 吉弘</td><td>教授</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>押切 太郎</td><td>准教授</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>山下 公大</td><td>特命准教授</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>金治 新悟</td><td>講師</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>長谷川 寛</td><td>助教</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>後藤 裕信</td><td>助教</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>裏川 直樹</td><td>助教</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>原田 仁</td><td>助教</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>澤田 隆一郎</td><td>助教</td></tr><tr><td></td><td>乳腺内分泌外科学分野</td><td>國久 智成</td><td>特命講師</td></tr><tr><td></td><td>低侵襲外科学分野</td><td>柳本 泰明</td><td>特命教授</td></tr><tr><td></td><td>〃</td><td>松田 武</td><td>特命准教授</td></tr><tr><td></td><td>国際がん医療・研究推進学分野</td><td>味木 徹夫</td><td>教授</td></tr><tr><td></td><td>地域医療ネットワーク学分野</td><td>木戸 正浩</td><td>特命教授</td></tr></table>	外科学講座	肝胆膵外科学分野	福本 巧	教授		〃	外山 博近	准教授		〃	後藤 直大	講師		〃	蔵満 薫	助教		〃	小松 昇平	助教		〃	津川 大介	助教		〃	権 英寿	特定助教		〃	福島 健司	特定助教		〃	浦出 剛史	特定助教		〃	南野 佳英	特命助教		食道胃腸外科学分野	掛地 吉弘	教授		〃	押切 太郎	准教授		〃	山下 公大	特命准教授		〃	金治 新悟	講師		〃	長谷川 寛	助教		〃	後藤 裕信	助教		〃	裏川 直樹	助教		〃	原田 仁	助教		〃	澤田 隆一郎	助教		乳腺内分泌外科学分野	國久 智成	特命講師		低侵襲外科学分野	柳本 泰明	特命教授		〃	松田 武	特命准教授		国際がん医療・研究推進学分野	味木 徹夫	教授		地域医療ネットワーク学分野	木戸 正浩	特命教授
外科学講座	肝胆膵外科学分野	福本 巧	教授																																																																																														
	〃	外山 博近	准教授																																																																																														
	〃	後藤 直大	講師																																																																																														
	〃	蔵満 薫	助教																																																																																														
	〃	小松 昇平	助教																																																																																														
	〃	津川 大介	助教																																																																																														
	〃	権 英寿	特定助教																																																																																														
	〃	福島 健司	特定助教																																																																																														
	〃	浦出 剛史	特定助教																																																																																														
	〃	南野 佳英	特命助教																																																																																														
	食道胃腸外科学分野	掛地 吉弘	教授																																																																																														
	〃	押切 太郎	准教授																																																																																														
	〃	山下 公大	特命准教授																																																																																														
	〃	金治 新悟	講師																																																																																														
	〃	長谷川 寛	助教																																																																																														
	〃	後藤 裕信	助教																																																																																														
	〃	裏川 直樹	助教																																																																																														
	〃	原田 仁	助教																																																																																														
	〃	澤田 隆一郎	助教																																																																																														
	乳腺内分泌外科学分野	國久 智成	特命講師																																																																																														
	低侵襲外科学分野	柳本 泰明	特命教授																																																																																														
	〃	松田 武	特命准教授																																																																																														
	国際がん医療・研究推進学分野	味木 徹夫	教授																																																																																														
	地域医療ネットワーク学分野	木戸 正浩	特命教授																																																																																														
実習概要	ユニットAのうち、消化器（肝胆膵および食道胃腸外科）と乳腺疾患の病態、診断、治療を対象とする．カンファレンスでは症例検討会や文献抄読会などを通じて消化器外科全般にわたる知識を習得する．また、乳腺内分泌外科についても併せて実習・講義を行う． 本BSLでは、配属された主治医団とともに診療に参加し、実践的な知識や技術の習得に努める．担当症例については教科書的な知識だけでなく、最新の文献に触れるなどより専門的な知見を徹底的に掘り下げ、抄読会においてその成果を発表する（質問・要望等あれば主治医、担当医またはBSL担当教員に申し出ること）。 なお、祝日の場合、その日に予定していた実習は適宜他の日に振り分ける。																																																																																																
到達目標	患者に直接接することにより、医師としての倫理観、態度を身につけることを目標とする。																																																																																																

	• problem-based learning の方式により自ら課題を抽出して自己学習し、その結果を教員や担当医に確認する。 • 主治医団の一員としてカンファレンス・回診では担当症例以外の患者や疾患に接し、疑問点を抽出することに努め、その疑問をその日のうちに解決するよう心がける。 • 外科では担当患者の手術に手洗いをしして直接参加するが、担当患者以外の手術でも、できる限り参加させる。希望手術はBSL 担当教員に申し出れば可能な限り配慮する。 • 結紮実習では、消化器外科で汎用する糸結びの手技を習得させる。 • 診察シミュレーション実習（OSCE 対応）では、シミュレーターを用いて縫合の習得をさせる。 • 腹腔鏡シミュレーター実習では、ドライボックスを用いて結紮や縫合を行い、腹腔鏡手技が実際にどのようなものか体験する。 • 肝切除シミュレーション実習では、術前シミュレーション機器を用いてその仕組みを学ぶと共に、実際の症例を用いてこれを体験する。 • 消化器癌検体については、個々の臓器に設定された「癌取扱い規約」に従った検体の固定・切り出し法について学習する。
実習評価	• 評価は、全カリキュラムへの出席を必要条件とする。 • <u>無断欠席・遅刻・早退は不合格の対象とする</u>。やむを得ない事情で欠席・遅刻・早退する場合は、必ず<u>事前に</u>担当教員に届け出ること。 • レポート提出の代わりに文献抄読会を行う。担当症例の疾患に関連する文献を読み、抄読会にてプレゼンテーションを行い、質疑応答の時間も設ける。評価については以下の項目と出席および抄読会での評価を総合的に判断し、公平に評価を行う。 1. 配属患者との意志疎通は円滑であったか。 2. 配属症例の病態の把握とその報告が適切にできたか。 3. 配属症例の病態から適切に問題を抽出し、その解決が出来たか。 4. 配属症例の診断と治療の場において、積極的に参加したか。
科目別試験	実施しない
オリエンテーション	2023/1-よりBSL 前週の木曜日 or 金曜日に肝胆膵外科 小松よりオリエンテーションを行います(肝胆膵外科医局セミナー室にて) 前週木曜日までに肝胆膵外科小松 (PHS 73115)まで連絡してオリエンテーションの予定を確認するようにしてください。 食道胃腸外科・肝胆膵外科それぞれに半分ずつ配属しますので、各班であらかじめ決めておいてください。 医局での集合が難しい場合に限り、下記 Zoom による Web 会議にします。 ***** https://us06web.zoom.us/j/7680561887?pwd=cVlucFZKalkrTENZZUg4VFN2eFZidz09

	ミーティング ID: 768 056 1887 パスコード: 1111 ***** 不明な点があれば、肝胆膵外科 小松 昇平まで連絡ください (PHS: 73115、 komasho8@gmail.com) BSL 開始週月曜日(月曜日祝日の場合は火曜日)の集合場所 肝胆膵外科配属希望者 :朝 8:20 10 階 カンファレンス室 食道胃腸外科配属希望者:朝 8:00 食道胃腸外科医局 担当:肝胆膵外科 小松昇平(komasho8@gmail.com) 食道胃腸外科 澤田隆一郎(rsawada@med.kobe-u.ac.jp) 乳腺外科 三木万由子(mikimayu@med.kobe-u.ac.jp)
服装に関する留意事項	白衣、スクラブ、ケーシーなど可

消化器内科・病理(グループAー第1、2週, グループBー第3、4週) ※ 前半組:出席番号順の前半3名
後半組:出席番号順の後半3-4名

週	曜	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
消化器内科・病理 (A)第1週 (B)第3週	月			オリエンテーション			BSL (各Gごと)	検査見学 (前半組:ERCP/EUS 後半組:ESD)	BSL (各Gごと)				
	集合場所			B講義室1				内視鏡室					
	火		病棟カンファレンス	BSL(各G)			BSL (各Gごと)						
	集合場所		8北カンファレンス室										
	水	BSL	超音波検査 モデル実習		BSL (各G)		BSL (各Gごと)	検査見学 (前半組:肝処置)	BSL (各Gごと)				
	集合場所		地域活性化センター					8北エコー処置室					
	木		BSL (各Gごと)				BSL (各Gごと)	検査見学 (前半組:下部内視鏡)	BSL (各Gごと)				
	集合場所							内視鏡室					
	金	BSL (各Gごと)	検査見学 (前半組:腹部エコー 後半組:上部内視鏡)		BSL (各Gごと)		BSL (各Gごと)						
	集合場所			内視鏡室/2階エコー室									

週	曜	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
消化器内科・病理 (A)第2週 (B)第4週	月	BSL (各Gごと)	検査見学 (前半組:上部内視鏡 後半組:腹部エコー)		BSL (各Gごと)		BSL (各Gごと)	検査見学 (後半組:ERCP/EUS 前半組:ESD)	BSL (各Gごと)				
	集合場所		内視鏡室/2階エコー室					内視鏡室					
	火		病棟カンファレンス	BSL (各G)			BSL (各Gごと)						
	集合場所		8Fカンファレンス室										
	水	BSL (各Gごと)	内視鏡モデル実習				BSL (各Gごと)	検査見学 (後半組:肝処置)	BSL (各Gごと)				
	集合場所		地域活性化センター					8北エコー処置室					
	木		BSL (各Gごと)				BSL (各Gごと)	検査見学 (後半組:下部内視鏡)	BSL (各Gごと)				
	集合場所							内視鏡室					
	金		BSL (各Gごと)				BSL (各G)	消化器内科 総括 (レポート提出)					
	集合場所							研究棟A消化器内科医局					

食道胃腸外科・肝胆膵外科・乳腺内分泌外科(グループA－第3・4週, グループB－第1・2週)

週		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18			
食道胃腸外科・肝胆膵外科・乳腺内分泌外科 (A) 第3週 (B) 第1週	月	病棟 回診	8:00～ 食道胃腸外科 症例検討会& 総廻診	手術見学			12:00～ 縫合練習 肝胆膵 担当医	手術見学			病棟回診				
	病棟	食道胃腸医局													
	病棟 回診	8:20～ 肝胆膵外科 症例検討&総廻診													
	集合場所	病棟	10Fカンファ室	中央手術室			肝胆膵医局				病棟				
	火	病棟 回診	8:20～ 全体症例 検討会	手術見学								病棟回診			
	集合場所	病棟	10Fカンファ室	中央手術室								病棟			
	水	病棟 回診	BSL	9:00～ 第1週 病理部オリ エンテー ション	10:00～ 食道胃腸外科 ミニレク チャー	BSL			14:00～ 外科シミュレーション (OSCE対応)	担当: 澤田(食胃腸) 担当: 後藤(肝胆膵)	病棟回診				
	集合場所	病棟	病理部	食胃腸医局	病棟			地域医療活性化センター			病棟				
木	病棟 回診	8:20- 全体 抄読会	9:00～肝胆膵外科班 乳腺内分泌外科 手術見学+講義 担当: 國久		手術見学 (肝胆膵外科・食道胃腸外科)					病棟回診					
集合場所	病棟	各G確認	中央手術室								病棟				
金	病棟 回診	8:00～ 食道胃腸外科 症例検討会& 総廻診	9:30～ 肝胆膵外科 ミニレクチャー 担当: 小松	BSL			14:00～ 肝胆膵外科 ミニレク チャー 担当: 木戸	15:00～ 肝胆膵外科 ミニレク チャー 担当: 後藤	病棟回診						
集合場所	病棟	食道胃腸外科医局	肝胆膵医局	病棟			肝胆膵医局	肝胆膵医局	病棟						
週	曜	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18			
食道胃腸外科・肝胆膵外科・乳腺内分泌外科 (A) 第4週 (B) 第2週	月	病棟 回診	8:20～ 肝胆膵外科 症例検討&総廻診	手術見学							病棟回診				
	集合場所	病棟	10Fカンファ室	中央手術室							病棟				
	火	病棟 回診	8:20～ 全体症例 検討会	手術見学								病棟回診			
	集合場所	病棟	10Fカンファ室	中央手術室								病棟			
	水	病棟 回診	BSL	9:30～ 手洗い・腹腔鏡シ ミュレーター実習 食胃腸: 長谷川 肝胆膵: 担当者	11:00～ 肝胆膵外科 ミニレク チャー 担当: 柳本	BSL						病棟回診			
	集合場所	病棟	地域医療活性化センター	肝胆膵医局	病棟						病棟				
	木	病棟 回診	8:20～ 全体 抄読会	9:00～食道胃腸外科班 乳腺内分泌外科 手術見学+講義 担当: 國久		手術見学 (肝胆膵外科・食道胃腸外科)					病棟回診				
	集合場所	病棟	各G確認	中央手術室							病棟				
金	病棟 回診	8:00～ 食道胃腸外科 症例検討会&総廻診			BSL						14:30～ 抄読会 担当: 山下or後藤	病棟回診			
病棟	食道胃腸外科医局														
集合場所	病棟	8:00～ 肝胆膵外科 症例検討会				食胃腸or肝胆膵医局			病棟						
集合場所	病棟	10Fカンファ室			病棟										

ユニット	ユニット B
サブユニット名	整形(整形外科)／リハ(リハビリテーション科)
BSL担当教員 ／連絡先	松本 知之(連絡先:医局／内線 5985, PHS 73613) 由留部 崇(連絡先:医局／内線 5985, PHS 73627)
実習担当教員	外科系講座 整形外科学分野 黒田 良祐 教授 外科系講座 整形外科学分野 松本 知之 准教授 外科系講座 整形外科学分野 星野 祐一 講師 外科系講座 整形外科学分野 林 申也 講師 外科系講座 整形外科学分野 原 仁美 助教 外科系講座 整形外科学分野 大江 啓介 助教 外科系講座 整形外科学分野 神崎 至幸 助教 外科系講座 整形外科学分野 美舩 泰 助教 外科系講座 整形外科学分野 乾 淳幸 特命助教 外科系講座 整形外科学分野 由留部 崇 助教 外科系講座 整形外科学分野 福井 友章 助教 外科系講座 整形外科学分野 西本 華子 特命助教 外科系講座 整形外科学分野 前田 俊恒 特定助教 外科系講座 整形外科学分野 中野 直樹 特命助教 外科系講座 整形外科学分野 長井 寛斗 特命助教 外科系講座 整形外科学分野 関節温存・再建外科学部門 松下 雄彦 特命准教授 外科系講座 整形外科学分野脊椎外科学部門 角谷 賢一朗 特命准教授 外科系講座 整形外科学分野脊椎外科学部門 武岡 由樹 特命助教 外科系講座 リハビリテーション機能回復学分野 酒井 良忠 特命教授 外科系講座 リハビリテーション機能回復学分野 深瀬 直政 特命助教 保健学研究科 リハビリテーション科学 秋末 敏宏 教授 保健学研究科 リハビリテーション科学 三浦 靖史 准教授 国際がん医療・研究センター 整形外科 河本 旭哉 特命講師 兵庫県社会福祉事業団 総合リハビリテーションセンター所長 陳 隆明 神戸大学大学院客員准教授 兵庫県立こども病院整形外科部長・副院長 薩摩 眞一 神戸大学医学部臨床教授 兵庫県立こども病院整形外科部長 小林 大介 神戸大学医学部臨床准教授
実習概要	整形外科は骨・関節・筋肉・神経など運動器における疾病や外傷を対象とし、その病態解明と治療法の開発および診療を行う専門領域です。先天性疾患をはじめとする小児整形外科、高齢者の変性疾患、腫瘍、関節リウマチなどの炎症性疾患、スポーツ傷害、外傷、リハビリテーションなど広範囲にわたります。実技実習や手術見学、学外施設での実習を通じて整形外科疾患の病態と診断法を的確に把握し、治療の適応や治療法の決定、予後などについて理解することを目標とします。

到達目標	1) 運動器系の正常構造と機能と理解 ・骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能 ・脊柱の構成と機能 ・骨・関節の基礎 2) 筋骨格系の病態に即した診察法の理解と習得 ・医療面接 ・四肢・脊柱の可動域検査, 神経学的検査 3) 筋骨格系の画像診断の理解 ・X 線, CT, MRI など 4) 運動器疾患における主な症候の理解 ・運動麻痺・筋力低下 ・関節痛・関節腫脹 ・腰背部痛 5) 各疾患における診断と理解(グループ講義による) ・一般的疾患(骨折・脱臼, スポーツ傷害, 関節症, 脊椎変性疾患など) ・感染性疾患(化膿性関節炎, 化膿性脊椎炎, 骨髄炎など) ・腫瘍性疾患(原発性骨軟部腫瘍, 転移性骨腫瘍, 腫瘍類似疾患など) 6) 保存的治療法の理解と取得(ギプス包帯固定法, リハビリテーションなど) 7) 観血的治療法の理解(手術見学および整形外科手術手技実習による)
実習評価	実習に対する取り組みや積極的な参加など実習態度を重要視し, 担当した症例のレポートと口頭試問などによって評価を行います。
オリエンテーション	第 1 週月曜日の 9 時 00 分より Zoom を用いた WEB 会議にて実施します。
服装に関する留意事項	学生といえども患者さんと接するので, 医師として常識的な服装を心掛けてください(例えば男性ならネクタイに白衣あるいはケーシー型白衣やスクラブを着用する, などです)。

ユニット	ユニットB
サブユニット名	神経2(脳神経外科)
BSL担当教員 ／連絡先	田中 一寛 (連絡先：医局／内線 5966, PHS 73703)
実習担当教員	外科系講座 脳神経外科学分野 篠山 隆司 教授 外科系講座 脳神経外科学分野 藤田 敦史 准教授 外科系講座 脳神経外科学分野 木村 英仁 講師 外科系講座 脳神経外科学分野 田中 一寛 講師 外科系講座 脳神経外科学分野 魚住 洋一 助教 外科系講座 脳神経外科学分野 甲田 将章 助教 外科系講座 脳神経外科学分野 長嶋 宏明 助教 外科系講座 脳神経外科学分野 藤本 陽介 助教 外科系講座 脳神経外科学分野 前山 昌博 助教 外科系講座 脳神経外科学分野 藤田 祐一 助教
実習概要	神経2（脳神経外科）サブユニットでは、第一に神経学的診断の実技について、総括的に実習することを重視する。具体的には、外来実習及び病棟実習で担当する症例の診察を通じて、病歴からいかにして責任病巣を絞れるか、神経学的診察によりその責任病巣を推定できるか、さらに各種の補助検査で正しくその診断を確認できるか、という過程を学習する。第二に臨床講義・症例学習などを通じて4年次チュートリアルに含まれなかった各論を学ぶ。第三に脳外科手術や脳血管内手術の実際を見学することにより、外科医として必要な手術適応や臨床解剖学に関する知識を身に付ける。これら臨床例をもとにして、一般医として必須の「緊急性を有する神経疾患の基本的マネジメント」について理解習得する。なお、実習前にチュートリアルで学習した内容を復習しておくこと。
到達目標	1) 正常神経組織の生理機能についての知識を有する 2) 標準的な神経学的所見の診察が可能である 3) 脳血管障害の典型的な臨床的特徴や画像所見を知っている 4) 主な脳腫瘍の典型的な臨床的特徴や画像所見を知っている 5) 頭部外傷の典型的な臨床的特徴や画像所見を知っている 6) 機能脳神経外科について最低限の知識を有する
実習評価	評価は実習・講義など全カリキュラムへの出席とレポート提出を最低条件とする。無断欠席、遅刻は落第の対象となる。また、以下の観点から、配属患者の担当医の意見も参考にして、評価を行う。 ・配属患者との意志疎通は円滑であったか。 ・配属症例の病態の把握とその報告が適切に出来たか。 ・配属症例の病態から適切に問題を抽出し、その解決が出来たか。 ・配属症例の診断と治療の場に積極的に参加したか。 ・コメディカルと良好な関係を築けたか。
科目別試験	科目別試験は行わない。実習中に小テストを行う予定である。
成績評価	実習評価点（小テストを含む）
オリエンテーション	月曜 午前8時45分 脳神経外科医局 原則として田中一寛（講師）が行う。 なお、月曜が祝日の場合は事前に担当教員まで連絡・確認のこと。
服装に関する留意事項	特になし（医学部の規定に沿う）

ユニット	ユニット B
サブユニット名	口腔(歯科口腔外科)
BSL担当教員／連絡先	武田 大介 (連絡先：医局／内線 6213, PHS 74605)
実習担当教員	外科系講座 口腔外科学分野 明石 昌也 教授 外科学講座 口腔外科学分野 長谷川 巧実 准教授 外科系講座 口腔外科学分野 木本 明 講師 外科系講座 口腔外科学分野 楠元 順哉 助教 外科系講座 口腔外科学分野 村木 友美 助教 外科系講座 口腔外科学分野 寛 康正 特命講師 外科系講座 口腔外科学分野 武田 大介 助教
実習概要	手術見学、外来・病棟・歯科技工見学、歯牙模型実習、ブラッシング実習、歯科診察相互実習、画像診断、各分野の講義 詳細は別紙参照 (<u>臨床実習レベルによって適時変更の可能性あり</u>)
到達目標	下記項目の知識習得 1) 口腔の解剖 2) 歯科疾患と口腔外科疾患 3) 歯科疾患(う蝕、歯周疾患)とその全身への影響 4) 口腔外科疾患(口腔癌を含む)の病因、診断および治療 5) 周術期等口腔機能管理を通じた医科歯科連携
実習評価	1) 出席状況と実習態度・積極性 2) レポートの内容 3) 主治医・指導医による評価
成績評価	実習評価点より総合的に判断する。
オリエンテーション	水曜日 8:45 に 5 階口腔外科会議室に集合 (<u>臨床実習レベルによって適時変更の可能性あり</u>)
服装に関する留意事項	別途策定の標準的な服装とする。

＜4-5年次臨床実習1(BSL):整形外科＞ 時間割

整形外科／リハビリテーション（グループAー第1, 2週, グループBー第3, 4週）														
整形外科 （A）第1週 （B）第3週			8:45	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
	月			オリエン テー ション (松本)	移動	骨接合 手技実習 (大江)	昼食・移動		講義 上肢 (美松)	講義 膝関節 (松本准教授)	講義 脊椎 (由留部)			
	集合 場所			Web		外来ポリクリ室			Web					
	火			手術見学			腱縫合実習 (乾)	昼食	レポート作成・自習					
	集合 場所			手術室			外来ポリクリ室	外来ポリクリ室						
	水			小児整形 または リハビリテーション医学（学外実習）										
	集合 場所			兵庫県立こども病院 または 兵庫県立リハビリテーションセンター中央病院										
	木			自習			昼食	講義 下肢・スポーツ (神崎)	移動	関節鏡実習 (星野)	術前Webカンファレンス (各教員による 個別の手術症例指導)			
	集合 場所							Web		外来ポリクリ室	16:20 集合	医局		
	金			手術見学			昼食	レポート作成 ・自習	ギプス実習 (福井)	レポート作成・自習				
集合 場所			手術室				外来ポリクリ室							
整形外科 （A）第2週 （B）第4週				9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
	月			自習	講義 骨粗鬆症 (西本)	昼食・移動		講義 脳血管障害リハ (酒井特命教授)	リハビリ実習 (酒井特命教授)	インプラント 実習 (松下特命 准教授)	レポート作成 ・自習			
	集合 場所				Web			外来ポリクリ室						
	火			手術見学			昼食	レポート作成・自習		脊椎手術 手技実習 (角谷特命 准教授)	レポート作成 ・自習			
	集合 場所			手術室				外来ポリクリ室						
	水			リハビリテーション医学 または 小児整形（学外実習）										
	集合 場所			兵庫県立リハビリテーションセンター中央病院 または 兵庫県立こども病院										
	木			四肢・脊柱・ 神経診察実習 (長井)	レポート作成・自習	昼食・移動		講義 下肢画像診断 (林)	骨・軟部腫瘍 (原)	講義 関節リウマチ (三浦准教授)	自習			
	集合 場所			外来ポリクリ室				Web						
	金			手術見学			骨・軟部腫瘍 画像診断実習 (深瀬)	昼食	レポート作成・ 自習	口頭試問 (黒田教授)	自習	打ち上げ		
集合 場所			手術室			外来ポリクリ室		外来ポリクリ室	教授室		開始時間： 後日連絡	Web		

脳神経外科（グループA - 第3週、グループB - 第1週）												
		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
脳神経外科 （A）第3週 （B）第1週	月		8時45分 オリエン テーショ ン	小テスト	手術見学①				病棟にて患者紹介と診察			
			（田中）	（田中）	（篠山）				（病棟担当医）			
		集合場所	医局	医局	手術室				9階北病棟			
	火			手術見学②				脳神経外科 症例検討会 （藤田祐） 9階北カンファルーム		脳神経外科 臨床講義 頭部外傷（魚住） 医局		
				（藤田祐）								
		集合場所		手術室								
	水			脳血管内手術見学 血管造影室（病棟医長／甲田） *手術見学（*脳血管内手術ない場合）						脳神経外科臨床講義 関連病院施設長 医局／Web		
		集合場所		手術室（甲田）								
		木	回診	手術見学③						脳神経外科 臨床講義 画像診断 （近藤／原） Web		
	7時45分集合 （病棟医長）		（田中）									
	集合場所		9階北病棟	手術室								
	金			病棟実習 （病棟担当医）					脳神経外科 症例検討会 （藤本） 9階北カンファルーム		微小血管吻合実習 （藤本） 医局	
集合場所			9階北病棟									

脳神経外科（グループA - 第4週、グループB - 第2週）													
		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
脳神経外科 （A）第4週 （B）第2週	月		回診	手術見学④					微小血管吻合実習		臨床講義		
			7時45分集合 （病棟医長）	（長嶋）					（木村）		（藤田敦）		
		集合場所	9階北病棟	手術室					医局		医局		
	火			小テスト	病棟実習					脳神経外科 症例検討会 （学生発表）		レポート検討会	
				（田中）	（病棟担当医）					（魚住）		（篠山）	
		集合場所		医局	9階北病棟					9階北カンファルーム		医局	
	水												
		集合場所											
	木												
		集合場所											
	金												
		集合場所											

歯科口腔外科（グループA - 第3週、グループB - 第1週）												
		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
歯科口腔外科 (A) 第3週 (B) 第1週	月											
	集合場所											
	火											
	集合場所											
	水											
	集合場所											
	木											
	集合場所											
金												
集合場所												

歯科口腔外科（グループA - 第4週、グループB - 第2週）											
		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
歯科口腔外科 (A) 第4週 (B) 第2週	月										
	集合場所										
	火										
	集合場所										
	水		8:45～ オリエンテー ション	9:30～12:00				13:30～15:00		15:30～16:30	
		集合場所	5F口腔外科 医局会議室	手術見学 手術室				歯ブラシ模型実習 歯科外来		歯科診察相互実習 歯科外来	
	木		8:15～9:00	10:00～12:00				13:30～14:45	15:00～16:00		
		集合場所	10階南処置室	外来見学(初診・歯科技工) 歯科外来				小手術 歯科外来	画像診断講義 歯科外来		
金			9:00～10:50	11:00～12:00			13:30～15:00				
	集合場所		手術見学 手術室	矯正 歯科外来			顎関節・インプラント講義 歯科外来				

ユニット	ユニット C
サブユニット名	救命救急科・小児外科
BSL担当教員 ／連絡先	外科系講座 災害・救急医学分野 山田 勇 (連絡先：医局 6521／PHS:74702)
実習担当教員	外科系講座 災害・救急医学分野 小谷 穰治 教授 外科系講座 災害・救急医学分野 井上 茂亮 特命教授 外科系講座 災害・救急医学分野 山田 勇 准教授 外科系講座 災害・救急医学分野 遠山 一成 特命講師 外科系講座 災害・救急医学分野 関 恒慶 助教 外科系講座 災害・救急医学分野 大野 雄康 助教
実習概要	救命救急科の BSL では、診療上の問題点を抽出し解決していくという、臨床医として重要な医学的思考方法や技術の修得を目指す。救急外来診療では重症度と緊急性を考慮した迅速で適切な診断や治療の理解を目標とする。 講義および実習については、救急外来での初期対応、及び重症患者に対する集中治療において必要な医学的知識・考え方や処置・治療法に関する内容である。特に医師となるうえで必須である心肺停止(CPA)患者に対する救命措置(BLS、ICLS)や、JATECTMに基づく外傷初期診療、熱傷・中毒・ショックなどの救急医療に特徴的な病態の診療に対する理解を深める。 実習期間中はカンファレンスや回診に参加し、スタッフや研修医と共に実際の診療に携わり、厚生労働省の定める実習項目(学生が行ってよい医療行為)に積極的に取り組む。レポート作成については 1 人の患者を担当し、レポート発表を行う。レポートは BSL での学習や経験が十分反映する内容で、関連する最新文献を引用して作成する。 また、阪神・淡路大震災、東日本大震災等の経験を踏まえて、災害医療についても学習する。
到達目標	目標内容： ○救急 【総論】 1. 救急医学と救急医療システム (含. 病院前救護体制、メディカルコントロール) 2. 救急診断 (vital sign の見方、緊急度と重症度、triage、鑑別診断、緊急検査) 3. 救急・重症患者の症候、病態 (意識障害、循環不全、呼吸不全、多臓器不全など) 4. 救急初期治療 i) 心肺蘇生法 ii) 呼吸・循環の安定化(気道確保、輸液路確保、止血法、創傷処置、体腔穿刺、各種カテーテル挿入法、薬物療法、輸液療法、輸血療法) 5. 侵襲と生体反応 6. 重症患者管理 (各種機器とモニタリング、呼吸管理、循環管理、体液管理、栄養管理、感染対策) 7. 救急医療と保健・医療・福祉・介護との連携 8. 災害医療

	9. チーム医療の実践 【各論】 1. 外傷 (外傷の初期診断と初期治療、外傷後合併症、外傷後感染（破傷風、ガス壊疽など）、頭部・顔面・頸部外傷、胸部外傷、腹部外傷、脊椎外傷、骨盤外傷、四肢外傷、泌尿性器外傷、末梢血管損傷） 2. 内因性重症救急疾患 (中枢神経系救急疾患、呼吸循環系救急疾患、消化器系救急疾患、代謝性救急疾患など) 3. 熱傷（含、化学熱傷、電撃傷） 4. 急性中毒（薬物中毒、農薬中毒、ガス中毒など） 5. 環境異常（熱中症、低体温、凍傷、酸素欠乏症、減圧症） 6. 気道異物、溺水、刺咬傷など 7. 災害医療（災害について、災害医療と救急医療の相違点（医療救援など）、地域の災害医療体制、CSCATT と 3T、トリアージタグの記入方法、災害時の救急処置、災害特有の病態 (挫滅症候群、Confined Space Medicine など)、災害拠点病院について、災害による精神的障害（PTSD など）と心のケア
実習評価	出席状況、実習態度（問題解決能力、積極性、協調性、コミュニケーション能力）、症例レポート及び発表等での総合評価を行う。
オリエンテーション	（救急）BSL 初日午前 7 時 50 分に外来診療棟 4 階 救命救急科カンファレンス室に集合のこと
服装に関する留意事項	（救急）スクラブ着用

ユニット	ユニット C
サブユニット名	救急(救急救命科)・小児外科
BSL担当教員 ／連絡先	富岡 雄一郎（連絡先：小児外科医局 内線 5942、PHS 73504）
実習担当教員	外科学講座 小児外科学分野 尾藤 祐子 教授 外科学講座 小児外科学分野 大片 祐一 講師 外科学講座 小児外科学分野 鮫島 由友 特命助教 外科学講座 小児外科学分野 富岡 雄一郎 特定助教
実習概要	小児外科学は新生児から思春期までの患児を対象とする学問である。小児は常に成長・発達過程にある。実習では、それぞれの年齢における特有の生理的状态と成長・発達に伴う変化および疾患の病態を理解した上で、小児患者に対する外科治療の理解を目指す。スタイルは参加型実習とする。手術参加・講義・ハンズオンセミナーを通して知識・技術の習得を目指す。また病棟や外来で患者および家族と接することで医師として必要な知識やスキルや患者家族との接し方を学ぶ。学生同士でプレゼンテーションやインフォームドコンセントのシミュレーションを行うことで、学んだことを他人に発信することを意識した実習を行う。
到達目標	○小児外科 新生児から思春期までの成長・発達とその異常の特徴および精神・社会的な問題を理解する。 1) 新生児の生理的特徴を説明できる。 2) 緊急を要する新生児疾患を概説できる。 3) 新生児・小児の全身診察ができる（発達状況の評価も含む）。 4) 乳幼児の生理機能の発達を説明できる。 5) 小児の栄養上の問題点を列挙できる。 6) 成長に関わる主な異常を列挙できる。 7) 小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。 8) 小児の呼吸器系疾患の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。 9) 小児の消化器疾患の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。 10) 新生児・小児疾患に対する外科的な対応を説明できる。
実習評価	出席状況、実習態度（問題解決能力、積極性、協調性、コミュニケーション能力）、症例レポート及び発表等での総合評価を行う。
オリエンテーション	（小児外科）A グループ第 1 週・B グループ第 3 週の月曜日午前 9 時に、4 階病棟カンファレンス室に集合のこと。
服装に関する留意事項	（小児外科）白衣あるいはスクラブ着用

ユニット	ユニット C
サブユニット名	総合内科
担当教員／連絡先	乙井 一典（連絡先： 医局／内線 6596、PHS 71011）
実習担当教員	地域社会医学・健康科学講座 医学教育学分野 坂口 一彦 特命教授 内科学講座 総合内科学分野 乙井 一典 准教授 内科学講座 総合内科学分野 森 健太 助教 地域社会医学・健康科学講座 総合臨床教育・育成学分野 岡野 光真 助教
実習概要	総合内科臨床実習 1 の 2 週間では、皆さんは病棟主治医団に配属され、その主治医団と行動を共にすることで入院患者さんから学ぶ診療参加型実習を行って頂きます。主治医団の一員として積極的なチーム医療への参加を期待しています。入院患者さんを実際に診察し主治医団と治療方針を議論し、その過程をカルテに記録しカンファレンスでプレゼンテーションすることによって、実践の場で臨床医学を学びます。 また外来初診患者さんの医療面接を行い外来担当医に報告することで医療面接・外来医療を学びます。内科救急での見学において、初療時の医療面接、身体診察からの検査計画、鑑別診断、治療方針を学びます。 ＜その他のカリキュラム＞ ・ 多職種カンファレンスへの参加：主治医団、看護師、患者支援センター等多職種による合同カンファレンスに参加して、チーム医療を学びます。 ・ point-of-care 超音波(POCUS)実習：診療の一環として POCUS を行う際に見学し、下記レクチャー内での解説等から、その手順、所見の基本的解釈を学びます。 ・ 指導医によるミニレクチャー：医療面接、身体診察、カルテの書き方、診断推論など、医師としての基本的知識、スキルを学びます。
到達目標	＜診療の基本に関する目標＞ 一般目標：受持ち患者の情報を収集し、診断、治療計画を立てることを学ぶ。 【問題志向型システム・科学的根拠に基づいた医療】到達目標： 1) 基本的診療知識に基づき、情報を収集・分析できる 2) 得られた情報をもとに、問題点を抽出できる 3) 病歴と身体所見等の情報を統合して、鑑別診断ができる 4) 診断・治療計画を立てられる 5) 科学的根拠にもとづいた医療(EBM)を実践できる 【医療面接】到達目標： 1) 礼儀正しく患者(家族)に接することができる 2) プライバシーへの配慮、患者(家族)との信頼関係を形成できる 3) 医療面接における基本的コミュニケーション技法を実践できる 4) 病歴聴取(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、社会歴、システムレビュー等)を実施できる 【診療記録とプレゼンテーション】到達目標： 1) 診療録を POMR 形式で記載できる

- 2) 毎日の所見と治療方針を SOAP 形式で記載できる
- 3) 受持ち患者の情報を診療チームに簡潔にプレゼンテーションできる
- 4) 自分の学んだことを、他の医療従事者に簡潔にプレゼンテーションできる

【チーム医療】到達目標:

- 1) 医療チームの一員として他の医療従事者と良好なコミュニケーションをとることができる
- 2) 医療チームの一員として、積極的に医療に参加できる
- 3) 保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる
- 4) 地域の保健、医療、福祉と介護活動とそのネットワークの状況を説明できる

<身体診察に関する目標>

一般目標: 受け持ち患者の基本的な身体診察ができる。

【全身状態とバイタルサイン】到達目標:

- 1) 血圧・脈拍を測定できる
- 2) 呼吸数を測定し、呼吸パターンを観察できる

【頭頸部】到達目標:

- 1) 頭部の診察ができる
- 2) 眼(視野、瞳孔、眼球運動、結膜)、口腔・鼻腔の診察ができる
- 3) 甲状腺を含めた頸部の診察ができる

【胸部】到達目標:

- 1) 胸部の視診、打診、触診、聴診ができる
- 2) 呼吸音を正しく聴診できる
- 3) 心音と心雑音を正しく聴診できる

【腹部と泌尿生殖器】到達目標:

- 1) 腹部の視診、聴診、打診と触診ができる
- 2) 直腸(前立腺を含む)指診ができる

【神経】到達目標:

- 1) 意識状態が判定できる
- 2) 脳神経を診察できる
- 3) 腱反射、病的反射、筋トーン、小脳・運動機能を診察できる
- 4) 髄膜刺激所見や感覚系の診察ができる

【四肢と脊柱】到達目標:

- 1) 四肢と脊柱を診察できる
- 2) 関節(関節可動域を含む)を診察できる
- 3) 筋骨格系の診察ができる

<基本的臨床手技・検査に関する目標>

一般目標: 基本的臨床手技・検査を学ぶ。

到達目標:

	1) 静脈採血の手順、部位と合併症を列挙し、正しく採血できる 2) 末梢静脈の血管確保を見学し、介助ができる 3) 基本的な血液・尿・生理検査等の結果についての解釈ができる 4) 基本的な画像検査の読影・所見の解釈ができる 5) point-of-care 超音波(POCUS)の手順、所見の解釈ができる ＜基本的内科疾患に関する目標＞ 一般目標： 基本的内科疾患を受け持ち、病態、症候、診断、治療と予後を学ぶと同時に、全人的医療について学ぶ。 到達目標： 1) 主要な疾患に関して、症候や検査から、診断・治療の計画を立案し実施に参加できる 2) 他科へのコンサルテーションが必要かどうか判断できる 3) 重症の患者、複数疾患をかかえる患者を診察し、診断・治療の優先順位、全人的医療の視点での立案・実施に参加できる 4) 患者の社会的背景や倫理的課題など個別な問題を視野に入れた治療計画の立案・実施に参加できる
実習評価	出席状況は重視され無断欠席は厳禁です。やむを得ず欠席する場合は、担当教員に理由を明記した書面をあらかじめ提出、あるいは急な理由により欠席する場合は、遅滞なく直接担当教員に連絡を取り、その後についての指示を受けてください。 レポート作成は不要ですが、学生発表したスライドを提出して頂きます。 以下の項目を重点的に評価し、フィードバックを行います。 ＜共通評価項目＞ ・ 医療面接／身体診察／診療記録／症例の理解／症例プレゼンテーション ・ コミュニケーション力／診療態度、責任感／自己学習態度 ＜科別評価項目＞ ・ チームの一員としての役割を果たせたか ・ 症例プレゼンテーション時の質疑応答(積極的に参加できたか)、学生発表時のスライド作成、質疑応答(プレゼンするに当たり、しっかり準備できたか) ・ 医療倫理的課題の認識と考察、社会制度の理解など全人的医療について理解できたか ・ (症例応じて) POCUS の手順、所見の解釈ができたか
オリエンテーション	・ 初日は午前 8 時 20 分に総合内科医局に集合して下さい。 ・ 月曜が祝日の場合は火曜、上記に集合して下さい。不明な点があれば前週金曜までに担当教員まで連絡・確認をお願いします。 ・ その他オリエンテーションは初日午前に行います。
服装に関する留意事項	医師として診療の際に適切な服装

ユニット	ユニット C
サブユニット名	臨床検査医学(検査部)
BSL担当教員 ／連絡先	千藤 莊 (連絡先 : PHS 71303) sho1000d@med.kobe-u.ac.jp
実習担当教員	検査部 矢野 嘉彦 講師 検査部 千藤 莊 特定助教
実習概要	リバースド CPC、採血実習、グラム染色など、検査手技および検査値の読み方の講義
到達目標	1) 検査提出から結果が出るまでの過程を理解する 2) 採血の手技ができる 3) グラム染色の手技ができる 4) 尿沈渣を行うことができる 4) 基本的な検査値の読み方が出来る 5) 検査説明ができる コアカリキュラム到達目標 G-3 基本的臨床手技 G-3-1) 一般手技 学修目標 : ⑤ 静脈採血を実施できる。 G-3-2) 検査手技 学修目標 : ① 尿検査 (尿沈渣を含む) を実施できる。 ② 末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。 ③ 微生物学検査 (Gram 染色を含む) を実施できる。 G-4-2) 上記以外の診療科 (臨床検査医学) 学修目標 (一部方略を含む) : ① 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。 ② 疾患の病態や疫学を理解する。 ③ 検査値から病態の把握を理解する ④ 複数の臓器にまたがる問題を統合する視点を獲得する。 ⑤ 臨床検査の現場を見学し、実際に測定を行う。
実習評価	出席状況と実習態度、および事前配布した小テストの結果により総合評価する
科目別試験	なし (BSL 期間中に小テストを行う)
オリエンテーション	水曜日午後 12 時 30 分に検査部 輸血部細胞治療部 実習室 (中央診療棟 3 階) に集合
服装に関する留意事項	白衣 (もしくはそれに準ずるもの)

救命救急科・小児外科(グループA-第1, 2週、グループB-第3, 4週)											
週	曜日	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
救命救急科・小児外科 (A)第1週 (B)第3週	月										カンファレンス (自由参加)
	集合場所	救命救急科カンファレンス室									救命救急科 カンファレンス室
	火										
	集合場所										
	水										
	集合場所										
	木										
	集合場所										
	金										カンファレンス (自由参加)
	集合場所	救命救急科カンファレンス室									救命救急科 カンファレンス室

救命救急科・小児外科(グループA-第1, 2週、グループB-第3, 4週)											
週	曜日	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
救命救急科・小児外科 (A)第2週 (B)第4週	月	カンファレンス	回診	実習・講義 オリエンテーショ ン				実習・講義			カンファレンス (自由参加)
	集合場所	救命救急科カンファレンス室	ICU・病棟								救命救急科 カンファレンス室
	火	カンファレンス	回診	実習・講義				実習・講義			カンファレンス (自由参加)
	集合場所	救命救急科カンファレンス室	ECU・病棟								救命救急科 カンファレンス室
	水	カンファレンス	回診	実習・講義				実習・講義			カンファレンス (自由参加)
	集合場所	救命救急科カンファレンス室	ECU・病棟								救命救急科 カンファレンス室
	木	カンファレンス	回診	実習・講義				実習・講義			カンファレンス (自由参加)
	集合場所	救命救急科カンファレンス室	ECU・病棟								救命救急科 カンファレンス室
	金	カンファレンス	回診	実習・講義				実習レポート発表会 総評			カンファレンス (自由参加)
	集合場所	救命救急科カンファレンス室	ECU・病棟								救命救急科 カンファレンス室

実習講義の時間は、救急対応などによって変更になることがある。

小児外科：第1・3週

救命救急科・小児外科（グループA-第1，2週、グループB-第3，4週）														
			8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
月					オリエ ンテー ション	外来①	休憩			ハンズオン ①				
	集合場所				4階カンファ 室	外科外来24診				地域活性セン ター				
火					カルテ 回診	外来②	休憩 自習	術前カ ンファ		キャリアアブラン 座談会	病棟回 診			
	集合場所				4階カンファ 室	外科外来24診		7階カン ファ室		4階カンファ室	4階病棟			
水					手術見学									
	集合場所				手術室/4階病棟/医局/4階カンファ室									
木					術後カ ンファ	外来③	ワークライ フバラン ス座談 会	休憩 自習		ハンズオン ②				
	集合場所				4階カンファ 室	外科外来24診				地域活性セン ター				
金						プレゼ ン実習		I C実 習	総括					
	集合場所					4階カンファ 室		4階カンファ 室	4階カンファ 室					
小児外科（A）第1週（B）第3週														

小児外科（A）第1週（B）第3週

総合内科・臨床検査(グループA - 第3、4週) (グループB - 第1、2週)

週	曜日	8	9	10	11	12	13	14	15	16
総合内科・臨床検査 (A) 第3週 (B) 第1週	月	8:20～ 集合 オリエン テーション	8:30～9:30 モーニング カンファ	9:30～11:00 グループ回診 & ミーティング	11:00～12:00 レクチャー 森①	12:00～13:00 昼食	13:00～14:30 入院診療 & 外来・救急見学	14:30～15:30 レクチャー 岡野①		16:00～17:00 グループ回診
		集合場所	医局	3か所	病棟	医局カンファ室	医局カンファ室&病棟・外来	医局カンファ室		病棟
	火		8:30～9:30	9:30～12:00 患者接触実習&グループミーティング + 外来実習				14:30～15:45 レクチャー 小坂		16:00～17:00 レクチャー 村前
		集合場所	医局カンファ室	医局カンファ室&病棟・外来				Zoom		Zoom
	水		8:30～9:30	9:30～11:00 グループ回診 & ミーティング	11:00～12:30 採血実習	12:30～14:00 塗抹標本の作製 血液像/骨髄像の見方	昼食	15:00～16:00 尿沈渣作成・検鏡		16:00～17:00 グラム染色・検鏡
		集合場所	3か所	病棟	輸血部自習室	検査管理室		検査管理室		検査管理室
	木		8:30～9:30	9:30～11:00 入院診療 & 外来・救急見学	11:00～12:00 レクチャー 森②	12:00～13:00 昼食	13:00～14:30 入院診療 & 外来・救急見学	14:30～16:00 退院支援カンファ		16:00～17:00 グループ回診
		集合場所	医局カンファ室	医局カンファ室&病棟・外来	医局カンファ室		医局カンファ室&病棟・外来	病棟		病棟
	金		8:30～9:30	9:30～11:00 グループ回診 & ミーティング	11:00～12:00 CPS論文 坂口			15:30～ 鼻咽頭 採取実習		16:00～ RCPC & 小テスト
		集合場所	3か所	病棟	医局カンファ室			検査管理室		? & BEEF

週	曜日	8	9	10	11	12	13	14	15	16
総合内科・臨床検査 (A) 第4週 (B) 第2週	月		8:30～9:30 モーニング カンファ	9:30～11:00 グループ回診 & ミーティング	11:00～12:00 レクチャー 森③	12:00～13:00 昼食	13:00～14:30 入院診療 & 外来・救急見学	14:30～15:30 レクチャー 岡野②		16:00～17:00 グループ回診
		集合場所	3か所	病棟	医局カンファ室		医局カンファ室&病棟・外来	医局カンファ室		病棟
	火		8:30～9:30	9:30～12:00 患者接触実習&グループミーティング + 外来実習						
		集合場所	医局カンファ室	医局カンファ室&病棟・外来						
	水		8:30～9:30	9:30～11:00 グループ回診 & ミーティング	11:00～12:00 レクチャー 乙井③	12:00～13:00 昼食	13:00～16:00 入院診療 & 外来・救急見学			16:00～17:00 学生発表
		集合場所	3か所	病棟	医局カンファ室					医局カンファ室
	木		8:30～9:30	9:30～10:45 学生カンファ 乙井/森/岡野	11:00～12:00 入院診療 & 外来・救急見学	12:00～13:00 昼食	13:00～14:30 入院診療 & 外来・救急見学	14:30～16:00 退院支援カンファ		16:00～17:00 学生発表
		集合場所	医局カンファ室	医局カンファ室			医局カンファ室&病棟・外来	病棟		医局カンファ室
	金		8:30～9:30	9:30～11:00 グループ回診 & ミーティング	11:00～12:00 総括 坂口(乙井)					
		集合場所	3か所	病棟	医局カンファ室					

	患者接触型実習
	Web実習
	自宅学習
	臨床検査医学

(診療科名) 臨床検査医学													
週	曜日	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
第1週 ・ 第3週	月												
	集合場所												
	火												
	集合場所												
	水						12:30～13:30	13:30～	14:00～15:00	15:00～	15:30～16:30		
							採血実習 (千藤)	塗抹標 本作成 (千藤)	尿沈渣作成・ 検鏡(千藤)	塗抹標 本検鏡 (千藤)	グラム染色・検 鏡(千藤)		
	集合場所						輸血部実習室 (中央診療棟3 階)	検査管理室 (中央診療棟2階)					
	木												
	集合場所												
	金										16:00～17:00	17:00～23:59	
												RCPC(矢野)	小テスト
	集合場所											A棟6階臨床検査	BEEF

ユニット	ユニットD
サブユニット名	免疫（膠原病リウマチ内科）
B S L 担当教員 ／連絡先	山田 啓貴（連絡先：内線 6197 PHS 71304）
実習担当教員	膠原病リウマチ内科 三枝 淳 准教授 膠原病リウマチ内科 上田 洋 特定助教 膠原病リウマチ内科 西村 啓佑 特定助教 膠原病リウマチ内科 山田 啓貴 助教
実習概要	サブユニット免疫では、リウマチ・膠原病症例に直接関わることで、問診、診察からの問題点作成、検査計画の立案の実際を学んで下さい。
到達目標	1. 担当症例に対して適切な医療面接・身体診察・診療記録を実施すること。 2. 担当症例の病態を把握し、その報告が適切に出来ること。また、適切に問題を抽出し、その解決が出来ること。 3. 担当症例に対する文献的考察ができること。 4. 担当症例に診断と治療の場において、積極的に参加すること。 5. 症例の人格を尊重し、意志疎通が出来ること。 6. コメディカルとの良好な関係を築くことが出来ること。 7. 関節所見を適切にとることが出来ること。 8. 鑑別診断、検査、治療スケジュールを自ら実施すること。
実習評価	評価はカリキュラムへの出席、上記の到達目標の達成率を重視します。事故、病欠等止むを得ない場合には、担当教員および学務課に必ず連絡して下さい。 実習担当教員による評価、レポート、ならびにまとめを総合的に判断し、最終評価を行います。
オリエンテーション	月曜 10:00 に膠原病リウマチ内科 図書室（外来棟 6 階）に集合。 尚、月曜が祝日の場合は、火曜に行う（BEEF 上にその都度時間割を提示します）。
実習における注意事項	学生の意見も取り入れ、実習を主体とし、講義は実施しない。4 年次のチュートリアル授業で基礎的な知識は理解、記憶しているものとして、実習を組んでいるため、BSL 開始前に十分復習しておくこと。
服装に関する留意事項	別途策定する標準的な服装に準ずる

ユニット	ユニット D
サブユニット名	腎(腎臓内科)
BSL担当教員 ／連絡先	後藤 俊介 (連絡先：医局／内線 6500、PHS 75402)
実習担当教員	内科学講座 腎臓内科学分野 西 慎一 教授 内科学講座 腎臓内科学分野 藤井 秀毅 准教授 内科学講座 腎臓内科学分野 後藤 俊介 助教 内科学講座 腎臓内科学分野 河野 圭志 助教 内科学講座 腎臓内科学分野 渡邊 健太郎 特定助教 内科学講座 腎臓内科学分野 坂本 和雄 特定助教
実習概要	腎臓内科では、可能な限り実際の症例を担当してもらい、腎臓病をもつ患者の病歴聴取ならびに病態や治療についての考察と、そのプレゼンテーションについて学んでもらう。また各種ミニレクチャーを行い、より実臨床に即した腎臓病に関する内容の理解を深めてもらう。
到達目標	1) 腎臓病患者に対し診察を行い、病態を把握し、方針を立てることができる。 2) 慢性腎臓病の病因、症候、診断と治療を説明できる。 3) アシドーシス・アルカローシスの定義、病態生理、診断、治療を説明できる。 4) 慢性腎不全の合併症である腎性貧血、ミネラル代謝異常を説明できる。 5) 腎代替療法を説明できる。 6) 腎組織について説明できる。 7) 腎不全の食事療法について説明できる。 8) 超音波での腎臓の評価について説明できる。 9) カルテ記載を行うことができる。 10) 急性腎障害 (AKI) について説明できる。 11) 英語論文を読むことができる。
実習評価	出席状況、課題レポートの内容、症例の理解、症例のプレゼンテーションの内容、担当患者や教官とのコミュニケーション力、英語論文の理解度、保存期腎不全の管理について説明できるか、透析療法の種類と原理について説明できるか、血液ガスの読み方について説明できるか、腎組織について説明できるか、AKI について説明できるか、「症例経験チェックシート」の提出、などから評価する。
オリエンテーション	月曜日午前 8 : 30 に第一病棟 3 F カンファレンスルームに集合。 なお月曜日が祝日の場合は、火曜日午前 8 : 30 に集合。
服装に関する留意事項	病院で実習するにあたり標準的な服装で実習に臨んでください。

ユニット	ユニット D
サブユニット名	泌尿器(泌尿器科)
BSL担当教員・連絡先	岡田 桂輔 (連絡先：医局／内線 6155、PHS 74022)
実習担当教員	外科系講座 腎泌尿器科学分野 藤澤 正人 教授 外科系講座 腎泌尿器科学分野 中野 雄造 准教授 外科系講座 腎泌尿器科学分野 重村 克巳 保健学科 准教授 外科系講座 腎泌尿器科学分野 兵頭 洋二 特命講師 外科系講座 腎泌尿器科学分野 古川 順也 特命准教授 外科系講座 腎泌尿器科学分野 千葉 公嗣 講師 外科系講座 腎泌尿器科学分野 松下 経 准教授 外科系講座 腎泌尿器科学分野 寺川 智章 講師 外科系講座 腎泌尿器科学分野 岡田 桂輔 助教 外科系講座 腎泌尿器科学分野 原 琢人 助教 外科系講座 腎泌尿器科学分野 西岡 遵 助教 外科系講座 腎泌尿器科学分野 横山 直己 助教 外科系講座 腎泌尿器科学分野 遠藤 貴人 助教 外科系講座 腎泌尿器科学分野 岡村 泰義 助教 外科系講座 腎泌尿器科学分野 板東 由加里 助教
実習概要	泌尿器科疾患のうち、前立腺疾患、尿路悪性腫瘍、排尿障害などは、高齢化社会を迎えますます増加傾向にある。したがって殆どの臨床医はその専門診療科目に関わらず、泌尿器科合併症を合わせもつ患者に触れることが多くなるので、これらについての知識をしっかりと身につけておくことが重要である。 本実習の目的は、実際の臨床から泌尿器科疾患全般に対する理解を深め、各種講義によりその理解を定着させることにある。外来実習では多岐にわたる専門的な泌尿器科疾患の概略を理解し、病棟実習では泌尿器科的処置のみならず患者とのコミュニケーションについても学習を深める。手術室実習では、実際に手術に参加しその臨場感を味わうとともに、腹腔鏡下手術、ロボット手術などの先進医療について学ぶ。
到達目標	【外来実習】 (コロナウイルス対策を十分にとって行えそうなら、空き時間で実習します) ・泌尿器科的身体所見の診療法を習得する。 ・診断に到達するための適切な検査計画を立てる能力を習得する。 ・超音波、内視鏡検査、レントゲン検査、尿流動態検査等について実際の手技を理解する。 【病棟実習】 ・主治医団と行動を共にし、泌尿器科入院患者管理が適切に行えるよう、基礎知識と技術を養う。 ・担当患者の病態につき医学的理解を深めると共に、その患者の QOL を考慮した全人的アプローチの実際を習得する。 ・病棟におけるチーム医療の一員として医師のなすべき役割について理解する 【手術場実習】 ・一般的な外科手術手技のみならず、泌尿器科に特有の鏡視下手術についても理解を深める。 ・主治医団と共に手洗いをし、手術を間近に見ることにより泌尿器科疾患の病態に関する理解を深める。
実習評価	出席状況を重視し、無断欠席や遅刻は不合格となることがある。さらに担当症例についての試問、担当教員の評価、および筆記試験により、総合的に判定する。
科目別試験	実施しない
オリエンテーション	前週の木曜日に実習参加人数と体調について連絡すること (内線：6155, 6156)
服装に関する留意事項	白衣着用 (スクラブのみでの実習参加は不可)

ユニット	ユニット D
サブユニット名	放射線（放射線診断・IVR 科、放射線腫瘍科）
BSL担当教員 ／連絡先	放射線診断・IVR 科：神田知紀（連絡先 PHS:72210 TEL:078-382-6104） 放射線腫瘍科：小林加奈（連絡先 PHS:72306 TEL:078-382-5687）
実習担当教員	【放射線診断・IVR 科】 村上 卓道 教授 堀 雅敏 特命教授 山口 雅人 特命教授 野上 宗伸 特命准教授 河野 淳 特命准教授 祖父江慶太郎 准教授 岡田 卓也 講師 神田 知紀 講師 上野 嘉子 特命講師 橋村 宏美 助教 西尾 瑞穂 特定助教 上嶋 英介 助教 西岡 瑛子 特定助教 元津 倫幸 特定助教 佐々木 康二 特定助教 辻田 有志 特定助教 【放射線腫瘍科】 佐々木良平 教授 宮脇 大輔 特命准教授 石原 武明 特命講師 小林 加奈 助教 棕本 成俊 特命助教
実習概要	放射線診断・IVR 科では種々の検査機器の特徴や適応および造影検査における注意点など、将来いずれの科に進むにしても必要な知識を身につける。それに加え、画像診断学および IVR（Interventional Radiology）の基礎も学習する。放射線腫瘍科では、癌治療の中の重要な位置を占める放射線治療を中心に腫瘍学の基本についても学ぶ。
到達目標	1. 胸腹部の CT にて正常解剖構造を理解する 2. 胸部・腹部・頭部において、主要疾患の典型的な画像所見を理解する 3. CT, MRI, RI, IVR 検査において検査の概要および適応や禁忌を理解する 4. 各検査における造影剤、被曝のリスクを理解する 5. 急性腹症の画像所見および鑑別方法を理解する 6. 放射線治療および IVR 治療の「低侵襲性」を理解する 7. 高精度治療（IMRT, 定位照射など）から小線源治療まで先進的な放射線治療を理解する 8. 緩和治療における放射線治療の役割を理解する
実習評価	出席状況、実習への取り組み、レポートに関して指導医の評価で行う。 遅刻・欠席については減点・補講を考慮する。
オリエンテーション	BSL 予定表が前週の金曜日夜にメールで送付されます。通常は月曜日 AM 9:00 に放射線診断・IVR 科の医局に集合しオリエンテーションを行います。病院での実習が制限される場合はメールや BEEF を参照ください。週により実習内容に変更がある場合がありますので、配布される予定表を必ず確認してください。
服装	通常の病院実習の服装であればとくに問題なし。

膠原病リウマチ内科(グループA - 第1週、グループB - 第3週)

週	曜	日	8	9	10	11	12	13	14	15	16
膠原病リウマチ内科（A）第1週（B）第3週											
月						オリエンテーション 山田	昼休み		BSL		
集合場所						外来棟6階 医局図書室					
火						BSL			BSL		
集合場所											
水						BSL			BSL		
集合場所											
木						関節エコー 西村	入院患者カンファレンス 病棟回診		BSL		
集合場所							9階カンファレンス室				
金							BSL		BSL 症例検討 上田	まとめ 三枝	
集合場所										Zoom	Zoom

R4 BSL予定表											
	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00		
	腎臓内科 オリエン テーション 患者紹介	カルテの 書き方	保存期腎不全 の管理		クリニカルレクチャー						
(月)			西	河野	岡本英	藤井					
集合場所			3Fカンファレンス	3Fカンファレンス	3Fカンファレンス	3Fカンファレンス					
			AKI	腎エコー	透析および 透析合併症について						
(火)				清水						佐藤/清水	坂本
集合場所				3Fカンファレンス						3Fカンファレンス	3Fカンファレンス
						血液ガスの 読み方	Images in Nephrology	腎生検の読み方			
(水)							中/寺田	岡本隼/後藤			
集合場所							3Fカンファレンス	3Fカンファレンス			
							シャント手術 講義	栄養療法			
(木)								平井/金井	山本・高橋		
集合場所								3Fカンファレンス	3Fカンファレンス		
								症例のまとめ・英語論文			
(金)								西			
集合場所								3Fカンファレンス			

※講義の時間は担当教官の予定により変更になったり、
休講になったりする可能性があります。
必ずオリエンテーションでもらった時間割を確認してください。

空き時間は自習や受持患者の把握、担当医との面談にあててください。

泌尿器科

		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
月					手術見学 手術見学 ※終了時間は各主治医に従ってください。 10人を超えたら退出して下さい。						
			BSL								
8:30に11北詰所			11階北詰所		中央手術部						
火								14:00 講義 尿路 感染症 (西岡)	14:30 講義 膀胱・ 精巣腫瘍 (岡村)		
								実験室(医局横)			
水							13:30 講義 腎腫瘍 (板東)	14:00 講義 尿路結石 (遠藤)	14:30 講義 男性不妊 (岡田)	15:00 講義 腎移植 (横山)	15:30 講義 前立腺 腫瘍 (原)
								実験室(医局横)			
木					手術見学 手術見学 ※終了時間は各主治医に従ってください。 10人を超えたら退出して下さい。						
	週によって午前か午後 かわりますので月曜日 にお伝えします。						手術見学 手術見学 ※終了時間は各主治医に従ってください。10人を超えたら退出して下さい。				
					中央手術部			中央手術部			
金											
		7:30	カンファレンス		試験						
集合場所 7:20 11北詰所			11北カンファ室	実験室(医局横)							
			9	10	11	12	13	14	15	16	17

※必ずスクラブではなく白衣着用して下さい

放射線科(全日実習可能 ver)

週	曜日	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
放射線科	月		放射線科総論 /IVR総論		RI総論		中枢神経		胸部講義		
		9:00	岡田	10:30	野上	13:00	神田	14:30	河野		
	場所		医局		医局		医局		医局		
	火		画像解剖		IVR症例提示		読影・検査見学 CT/MRI		RI室見学		
		9:00	神田	11:30	元津	13:00		15:00	野上		
	場所		読影室				各検査室/読影室		読影室		
	水		読影・検査見学 CT/MRI/IVR				腹部講義		放射線腫瘍学		
		9:00	検査担当医		13:00	辻田	14:30	佐々木			
	場所		各検査室/読影室			医局		A6カンファ			
	木		読影・検査見学 CT/MRI/IVR		Meet the Professor		放射線治療計画				
	9:00	検査担当医	11:00	村上	13:30	石原	14:30				
場所		各検査室/読影室		医局		腫瘍科外来					
金						IVRレポート解説		読影実習試問/総括		腫瘍科課題提出	
						13:00	山口	14:00	河野	16:00	
場所						医局	医局			腫瘍科外来	

◆この予定表は週により変更がある場合があります。また、講義・見学は、外来の状況、治療の予約状況により変化すること多いため、初日に配布される予定表を優先して下さい。

◆検査見学： 検査室見学グループは少人数に分かれ、CT室、MRI室の業務内容を見学していただきます。

1カ所60分で下記の表のように回り、見学シート(各1枚)を埋めるようにしてください。見学終了後に読影室秘書さんに見学シートを提出ください。

◆読影課題は1人1例下記の「読影課題」に従って割り当てられています。読影室端末にある症例からレポートを作成してください。レポートは金曜日12時までに作成して、金曜日の午後の口頭試問に持参し、画像を用いて症例を解説できるようにしてください。

◆金曜日16時から30分程度放射線腫瘍科の課題提出のための質問受付・解説があります。前のBSLが終わったら少し早めに来ていただいてもかまいません。(お待たせすることはご容赦ください。)

検査見学・読影の配分

学生	氏名	火 13:00～	火 14:00～	木 9:00～	木 10:00～	金 9:00～	金10:00～	読影課題
1		MRI	CT	読影		IVR		症例1
2		読影		MRI	CT	IVR		症例2
3		読影		MRI	CT	IVR		症例3
4		読影		IVR		MRI	CT	症例4
5		MRI	CT	IVR		読影		症例5
6		読影		IVR		MRI	CT	症例6
7		MRI	CT	IVR		読影		症例7

ユニット	ユニット E
サブユニット名	呼吸器 1(呼吸器内科)
BSL担当教員 ／連絡先	羽間 大祐 (連絡先：医局／内線 5660、PHS 71215)
実習担当教員	内科学講座 呼吸器内科学分野 立原 素子 特命准教授 内科学講座 呼吸器内科学分野 山本 正嗣 助教 内科学講座 呼吸器内科学分野 永野 達也 講師 内科学講座 呼吸器内科学分野 桂田 直子 助教 内科学講座 呼吸器内科学分野 羽間 大祐 助教
実習概要	・2週間で各自1症例を担当し、病歴の聴取、診察手技の実際を学びます。 ・主治医団とのディスカッションを通じて、臨床における考え方についても学んで下さい。 ・2週目の木曜日に実習のまとめとして各自担当症例について Powerpoint を用いたプレゼンテーションを行ってフィードバックを行います。 ・聴診シミュレーターを用いた実習やミニレクチャーを通じて、より実践的な技術、知識の習得を目指します。 ・分からないことがあれば、気軽に教員や担当医に質問して下さい。
到達目標	①マナーと責任のある行動ができ、患者と良好なコミュニケーションがとれる。 ②適切な病歴聴取ができる。 ③系統的な身体所見がとれる。 ④各種検査所見を理解できる。 ⑤症例の問題点を抽出し整理・解決できる。 ⑥症例を理解し、プレゼンテーションができる。 ⑦日常臨床でしばしば遭遇する呼吸器疾患（喘息・COPD、肺炎、抗酸菌感染症、間質性肺炎、肺癌など）の病態を理解し、診察手技や治療計画ができる。
実習評価/成績評価	出席が前提です。上記到達目標が達成できたか、積極的に取り組んでいたかを日々のディスカッションや症例のプレゼンテーション、実技試験、口頭試問、実習評価表を使用して総合的に評価します。
科目別試験	行いません。
オリエンテーション	月曜日午前9時半からオリエンテーションを行います。 呼吸器内科医局に集合してください。
服装に関する留意事項	別途策定の標準的な服装から逸脱しないこと。

ユニット	ユニット E
サブユニット名	呼吸器2(呼吸器外科)
BSL担当教員／連絡先	呼吸器外科 土井 健史 (連絡先：内線 5750 , PHS 73409)
実習担当教員	外科学講座 呼吸器外科学分野 眞庭 謙昌 教授 外科学講座 呼吸器外科学分野 田中 雄悟 病院准教授 外科学講座 呼吸器外科学分野 法華 大助 特命講師 外科学講座 呼吸器外科学分野 土井 健史 助教 外科学講座 呼吸器外科学分野 岡本 武士 助教 外科学講座 呼吸器外科学分野 西岡 祐希 特定助教
実習概要	当科 BSL は呼吸器内科と合同で行う。オリエンテーション時に手術症例の割り振りをを行い、手術見学の時間で担当症例の手術を見学して頂く(その時の状況に応じて医局モニター・手術室での見学を予定)。担当症例の手術見学を通じて術前評価、手術適応や術式の種類、胸腔内の解剖について理解を深めてもらう。手術翌日には集中治療室で術後管理(主に胸腔ドレーンの管理法)について学んでもらう。また2週間の実習期間中に、呼吸器外科でよく扱われる疾患(原発性肺癌、転移性肺腫瘍、気胸・膿胸・縦隔腫瘍)に関するミニレクチャーを行い、それらの疾患の理解を深めてもらう。最終日には課題症例について、提示課題に応じて術前の評価・手術内容・術後管理の注意点・今後の治療方針等について検討してもらった上で質疑応答による学習内容の確認を行い、最終的に提出レポートと合わせて実習の評価とする。
到達目標	1) 患者とのコミュニケーション、問診をはじめとした診察方法の習得(状況によっては本年は困難な可能性あり)。 2) 疾患の病態生理、術前評価、手術、術後管理について症例のプレゼンテーションができる。 3) 胸腔ドレーンの管理における、エアリークの見方、胸水の性状の評価、ドレーン抜去の基準について説明できる。 4) 胸腔内の解剖について、説明できる。 5) 呼吸器外科手術後の退院の適応について説明できる。 6) 呼吸器外科でよく扱われる疾患(原発性肺癌・転移性肺腫瘍・気胸・膿胸・縦隔腫瘍・悪性胸膜中皮腫)について、病態とその治療法について説明できる。
実習評価	出席が前提である。実習であるので、一定の出席率に達しないものは不合格とする。出席以外の評価項目は、課題症例に関する発表、課題レポートなどでの到達度、診察手技の習熟、胸腔内の解剖の理解、術後状態の把握、胸腔ドレーン管理の理解、最終日の実習総括における質疑応答での評価を総合して行う。
オリエンテーション	オリエンテーション：第1週月曜8:30に研究棟A 1F呼吸器外科医局(教員室)に全員揃って集合。なお、月曜が祝日の場合はBSL前週金曜日午前中までに担当教員もしくは医局まで連絡・確認のこと。
服装に関する留意事項	病棟に出る実習においては白衣・スクラブを着用してください。

ユニット	ユニット E			
サブユニット名	糖内内(糖尿病・内分泌内科)			
BSL担当教員 ／連絡先	糖尿病・内分泌内科 福岡 秀規 / (連絡先：医局内線 5861, PHS 71601, mail: fukuokah@med.kobe-u.ac.jp)			
実習担当教員	内科学講座 糖尿病・内分泌内科学分野	小川 渉	教授	
	内科学講座 糖尿病・内分泌内科学分野	廣田 勇士	准教授	
	神戸大学医学部附属病院 糖尿病内分泌内科	福岡 秀規	講師	
	神戸大学医学部附属病院 糖尿病内分泌内科	浅原 俊一郎	助教	
	内科学講座 糖尿病・内分泌内科学分野	山本 雅昭	助教	
	神戸大学医学部附属病院 糖尿病内分泌内科	菅原 健二	特定助教	
	神戸大学医学部附属病院 糖尿病内分泌内科	野村 和弘	特定助教	
	地域社会医学健康科学講座 健康創造推進学分野	田守 義和	特命教授	
	神戸大学医学部附属病院 臨床研究推進センター	坂東 弘教	特命助教	
実習概要	本サブユニットでは、ベッドサイドでの問診、診察に実際にコロナ対策において可能な範囲で自ら行うことによって、担当症例の診断・病態・治療・退院後管理について臨床に即した講義も交えながら学ぶ。問診、身体所見から診断に至るプロセスを学び、検査の選択とその結果の解釈法を学ぶ点が、本サブユニットにおける重要な課題である。 カンファレンスでは、受け持ちやそれ以外の患者についてもどのような点について議論がなされているのかを体感し、可能な範囲でその議論に医療者として参加する事を目指されたい。 手技としては甲状腺エコー、内分泌負荷試験や糖尿病神経障害の診察、血糖測定や最新デバイス機器の使い方を体験する。 最終日には担当患者、患者家族、主治医の役割に分かれ、模擬 IC を行っていただき、それぞれの視点でどのような IC が理想的かを議論したい。			
	到達目標	1) 患者とのコミュニケーションを円滑に行うことができる。		
		2) 病歴および現症を担当症例から聴取し、病態を正しく理解することができる。		
		3) 担当症例の病態から問題点を抽出し、それを解決する方法を理解することができる。		
4) 糖尿病・代謝・内分泌領域の代表疾患に関する基本的知識を身につける。				
5) ホルモンの過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。				
6) 糖尿病の病因、病態生理、分類、症候、検査の解釈と診断を理解し説明できる。				
7) 甲状腺エコーの実践とその役割、内分泌関連画像を理解できる。				
8) 患者、家族の立場を考え、インフォームドコンセントを行う事ができる。				
実習評価	担当患者の生活環境など患者背景、鑑別診断、診断名、病態、治療方針、退院後の治療における課題などを、実習期間中に把握しまとめる。			
	また、全カリキュラムへの出席状況、実習態度、報告会でのプレゼンテーション、確認試験も含めて、担当症例の主治医と指導医、教務担当教員が協議の上、判定する。			
オリエンテーション	月曜日の 9 時 00 分に医局会議室に集合。なお、月曜が祝祭日の場合には、火曜日の同時刻に同場所にて行う。			
服装に関する留意事項	標準的な服装で実習に参加する。			

ユニット	ユニット E
サブユニット名	感染(感染症内科)
BSL担当教員 ／連絡先	岩田 健太郎 (連絡先: PHS 72151 or 医局 6297)
実習担当教員	微生物感染症学講座 感染治療学分野 岩田 健太郎 教授 微生物感染症学講座 感染治療学分野 大路 剛 准教授
実習概要	感染症の診断プロセス、治療の原理・原則、治療効果の判定などの原則を学ぶ。また 血圧低下、酸素化低下、発熱などの鑑別疾患を適切に上げ、対処を考えることができる ようにする
到達目標	1) 市中・院内における感染症診断の原理・原則、アプローチを理解する 各病原微生物、感染臓器の診断の手がかりとなる病歴と身体所見を説明できる。 感染臓器を想定し適切な培養検体を採取できる。 各感染症診断に必要な抗原検査、核酸増幅検査、毒素検出検査など、特異的な検査 の感度・特異度を含めた結果の解釈と説明ができる 2) 抗菌薬使用の原理・原則を理解する。 病原微生物及び感染臓器毎の適切な抗微生物薬を説明できる。 3) 感染症治療、治療効果判定を理解する。 抗菌薬以外の感染巣コントロール(人工物の抜去やデブリードマン、ドレナージな ど)の適応を理解する。炎症反応などの非特異的マーカーではなく、臓器特異的なマ ーカーでの治療効果判定ができる。 4) 院内発熱患者を適切にワークアップする。 感染症に限らず、薬剤熱や自己免疫性疾患、結晶性関節炎など非感染症による発熱 も鑑別に挙げ、鑑別診断の重みづけを行ったうえで必要な検査、適切な経過観察が できる。 5) 院内感染管理、耐性菌に対する対応を理解する。 標準予防策を理解し実施することができる。 感染経路別予防策が必要となる病原微生物の説明ができる。 6) 各論として真菌感染症、寄生虫感染症、性感染症、新興・再興感染症、人獣共通感 染症、バイオテロに関連する感染症のアプローチを理解する。 各感染症の原因微生物の説明ができる。 各疾患の診断と治療を説明できる。
実習評価	出席状況、実習中の態度や学習のあり方で総合的に判定。発表やレポートを適宜課 す。
科目別試験	実施しない(口頭試問を予定)
オリエンテーション	月曜 8 時 30 分に感染症内科医局集合。祝日の場合は火曜の同時刻。
服装に関する留意 事項	特に指定なし

呼吸器内科・呼吸器外科（グループA - 1, 2週 グループB - 3, 4週）														
週	曜日	7:30	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
呼吸器内科・呼吸器外科（A）第1週、（B）第3週	月			オリエンテーション （外科） （土井）	オリエンテーション （内科） （羽間）	病棟実習		外科講義 （肺癌以外の悪性疾患） （土井）	外科講義 （気胸・膿胸などの良性疾患） （土井）					
	集合場所	外科医局			6北病棟			外科医局	外科医局					
	火				呼吸器外科手術見学 （第1週火曜・水曜で班を2つに分けて実施予定） 9:30-12:30頃を予定 （呼吸器外科担当教官）			病棟実習						
	集合場所				手術室/外科医局（状況に応じて変更）									
	水	外科 回診		呼吸器外科手術見学 （第1週火曜・水曜で班を2つに分けて実施予定） 9:30-12:30頃を予定 （呼吸器外科担当教官）				聴診 （立原）	画像診断 （レントゲン） （山本）					
	集合場所	ICU		手術室/外科医局（状況に応じて変更）				内科医局	内科医局					
	木	外科 回診		内科グループミーティング （8:45-）		外科 外来見学	病棟実習			肺癌臨床講義 （立原）				
	集合場所	ICU		6北病棟		外科外来				内科医局				
	金			内科グループミーティング （8:45-）		気管支鏡講義 （桂田）	病棟実習							
	集合場所			6北病棟		内科医局								

週	曜日	7:30	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
呼吸器内科・呼吸器外科 （A）第2週、 （B）第4週	月			内科グループミーティング (8:45~)	病棟実習				外科講義 (肺癌) (田根)					
	集合場所			6北病棟					外科医局					
	火			内科グループミーティング (8:45~)		気管支鏡見学 ※ 2班に分かれ、 10-11時と11-12時で 見学してください	気管支鏡実習 (桂田)	病棟実習						
	集合場所			6北病棟		光学	光学							
	水			内科グループミーティング (8:45~)	病棟実習									
	集合場所			6北病棟										
	木			内科グループミーティング (8:45~)	病棟実習	呼吸機能検査 (羽間)	病棟実習	振り返り実習総括 (外科) (眞庭、田根、土井)	呼吸器内科チャートカンファレンス (永野)					
	集合場所			6北病棟		6階カンファ		外科医局	6F医局					
	金									振り返り (内科) (西村)				
	集合場所									オンライン				

※集合場所が外科医局となっている所は研究棟A 1階の呼吸器外科医局に来てください。

呼吸器内科・呼吸器外科（グループA - 1, 2週 グループB - 3, 4週）														
週	曜日	7:30	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
呼吸器内科・呼吸器外科 （A）第1週、 （B）第3週	月			オリエンテーション（外科） （土井）	オリエンテーション（内科） （羽間）	聴診		外科講義（肺癌以外の悪性疾患） （土井）	外科講義（気胸・膿胸などの良性疾患） （土井）					
	集合場所			外科医局	6北病棟		内科医局		外科医局	外科医局				
	火							呼吸器外科手術見学（9:30-13:00, 13:30-17:00で班を2つに分けて実施予定） （真庭）						
	集合場所							1階呼吸器外科医局/手術室（状況を見ていずれかの場所で実施します）						
	水	外科 回診		内科グループミーティング （8:45-）						画像診断（レントゲン） （山本）				
	集合場所	ICU		6北病棟						オンライン				
	木			内科グループミーティング （8:45-）		外科外来 見学 （田中・土井）				肺癌臨床講義 （立原）				
	集合場所			6北病棟		外科外来				オンライン				
	金			内科グループミーティング （8:45-）					気管支鏡 実習 （桂田）					
	集合場所			6北病棟						内科医局				
呼吸器内科・呼吸器外科 （A）第2週、 （B）第4週	月			内科グループミーティング （8:45-）	オフィスアワー （羽間）	外科外来 見学 （真庭・田中）				オフィスアワー （桂田）				
	集合場所			6北病棟	6北病棟	外科外来				6北病棟				
	火			内科グループミーティング （8:45-）		気管支鏡見学 ※ 2班に分かれ、10-11時と11-12時で見学してください								
	集合場所			6北病棟		光学								
	水			内科グループミーティング （8:45-）						外科講義（肺癌） （岡本）				
	集合場所			6北病棟						オンライン				
	木			内科グループミーティング （8:45-）		呼吸機能検査 （羽間）				呼吸器内科チャートカンファレンス （永野）				
	集合場所			6北病棟		6階カンファ				6F医局				
	金									振り返り（内科） （西村）	振り返り（外科） （真庭）			
	集合場所									オンライン	オンライン			

※BSL開始初期の頃に手洗い実習が空き枠に入る可能性があります

糖尿病内分泌内科(グループA-第3週, グループB-第1週)

週		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
月	曜日										
	担当										
	場所										
火	担当										
	場所										
水	担当										
	場所										
木	担当										
	場所										
金	担当										
	場所										

*内分担当学生と希望者、担当患者の時間のみの必須、**糖尿病担当学生と希望者、担当患者の時間のみの必須、***COVID19の状況や予約状況で中止もあり

感染症内科 5 年次 BSL 予定表

<集合時刻・場所> 月曜日：研究棟 A 棟 6 階 カンファレンス室 8:30

火曜日～金曜日：研究棟 A 棟 6 階 感染症内科医局 9:30

<1 週間の主な流れ>

科	曜日	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
感 染 症 内 科	月		8:30	9:30		12:00		13:30	15:00	17:00以後	
			オリエン テーション	病棟ラウンド 担当症例決定		昼休み		カンファレンス (KUMEX)	担当症例プレゼン準備 (要時：病棟ラウンド、 プレゼンフィードバック)		
	場所		カンファレンス 室	病棟		移動		待機スペース等			
	火		8:30	9:30		12:00		13:30	15:00	17:00以後	
			カルテ レビュー (各自)	病棟ラウンド 担当症例プレゼン準備		昼休み		カンファレンス (KUMEX) 症例プレゼン	担当症例プレゼン準備 (要時：病棟ラウンド、 プレゼンフィードバック)		
	場所		院内	病棟/医局		移動		待機スペース等			
	水		8:30	9:30		12:00		13:30	15:00	17:00以後	
			カルテ レビュー (各自)	病棟ラウンド 担当症例プレゼン準備		昼休み		カンファレンス (KUMEX) 症例プレゼン	担当症例プレゼン準備 (要時：病棟ラウンド、 プレゼンフィードバック)		
	場所		院内	病棟/医局		移動		待機スペース等			
	木		8:30	9:30		12:00		13:30	15:00	17:00以後	
			カルテ レビュー (各自)	病棟ラウンド 担当症例プレゼン準備		昼休み		カンファレンス (KUMEX) 症例プレゼン	担当症例プレゼン準備 (要時：病棟ラウンド、 プレゼンフィードバック)		
	場所		院内	病棟/医局		移動		待機スペース等			
	金		8:30	9:30		12:00		13:30	15:00	17:00以後	
			カルテ レビュー (各自)	病棟ラウンド 担当症例プレゼン準備		昼休み		カンファレンス (KUMEX) 症例プレゼン	担当症例プレゼン準備 (要時：病棟ラウンド、 プレゼンフィードバック)		
	場所		院内	病棟/医局		移動		待機スペース等			

注意：曜日、時間については、週により変更になる場合があります。

<病棟ラウンド>

- ・ ラウンド前に担当症例のカルテをレビューして、後述の「プレゼンテーションのポイント」に則り、①患者さんの背景と主な基礎疾患、②感染臓器、③原因微生物、④使用中の抗菌薬、を特に意識してカルテの情報を集めてください。
- ・ 診察および検査で確認するポイントを決めてからラウンドすることが重要です。
- ・ 治療の効果が判定できるポイントを選ぶのがコツです。疾患によって異なります。

例) 肺炎治療中の場合：酸素飽和度(SpO₂(%))、酸素投与量、P/F 比、呼吸回数、喀痰の量・性状・Gram 染色所見など。

- ・ ラウンドの後に、経過は「改善」「悪化」「横ばい」のいずれであるかを自分で判断して、その根拠となる所見と理由を上級医とカンファレンスの前にディスカッションしてください。
- ・ もし、判断が上級医と異なる場合は、そのギャップがあなたの臨床能力を高めるポイントです。なぜズレが生じたかを徹底的に調べてください。

ユニット	ユニット F
サブユニット名	生殖・周産期（産科婦人科学）
BSL担当教員／連絡先	笹川 勇樹（連絡先：医局／内線 6005, PHS 74138）
実習担当教員	外科系講座 産科婦人科学分野 寺井 義人 特命教授 外科系講座 産科婦人科学分野 出口 雅士 特命教授 外科系講座 産科婦人科学分野 谷村 憲司 准教授 外科系講座 産科婦人科学分野 今福 仁美 講師 外科系講座 産科婦人科学分野 山崎 友維 助教 外科系講座 産科婦人科学分野 西本 昌司 特命助教 外科系講座 産科婦人科学分野 長又 哲史 助教 外科系講座 産科婦人科学分野 笹川 勇樹 助教 外科系講座 産科婦人科学分野 内田 明子 助教 外科系講座 産科婦人科学分野 施 裕徳 助教 外科系講座 産科婦人科学分野 鷺尾 圭一 特命助教 外科系講座 産科婦人科学分野 富本 雅子 助教
実習概要	① 講義・実習 下記の講義と実習を行います。時間割は BEEF を参照してください。原則すべての講義と実習は出席となります。 ・オリエンテーション 担当: 笹川先生 ・婦人科講義(オンデマンド) 担当: 寺井先生 ・婦人科講義(対面) 担当: 寺井先生 ・CTG エコー講義 担当: 谷村先生 ・エコー実習 担当: 施先生 ・内診実習 担当: 出口先生 ・分娩実習 担当: 富本先生 ・外来見学実習 担当: 笹川先生、内田先生、施先生 ・産科ビデオ講義 担当: 内田先生 ・婦人科ビデオ講義 担当: 西本先生 ・口頭試問 担当: 今福先生 寺井先生、谷村先生の実習に関しては配布資料がありますので、BEEF よりダウンロードしてください。 婦人科講義はオンデマンドでの授業となります。小テストを期限までに受験してください。（小テストを受験しなかった場合は無断欠席扱いとします。）

② 分娩

PHS 担当日は 9-17 時間の、分娩・緊急帝王切開・母体搬送などで連絡する。産婦人科の講義やカンファレンス時などは PHS で呼ばれた方を優先とする。連絡しても未応答で見学できなかった場合は学生の責任とする。

③ 手術

手術は見学のみで、手洗いはありません。事前にどの手術症例の見学に入るかを決めます。手術開始時間によって集合時間が変わりますのでその都度連絡します。手術日は 4 日間あり、なるべく症例が被らないように入るようにしてください。

手術見学終了時間は手術症例によって異なります。現場の産婦人科医師の指示に従ってください。**許可なく帰宅した場合は実習資格を剥奪しますので注意してください。**

④ 外来見学

初診、婦人科診、産科診、超音波のブースに 1 人ずつ（初診のみ 2 人）配属する。1 ブース 1 時間（初診のみ 2 時間）の見学とする。体調不良の場合は外来に入ることを禁ずるため申し出ること。

⑤ カンファレンス

産科カンファレンス 8:30 から医局カンファレンス室で行います。婦人科カンファレンスも 13:00 より医局カンファレンス室で行います。回診終了まで参加してください。

許可なく帰宅した場合は実習資格を剥奪しますので注意してください。

⑥ 当直について（希望者のみ）

希望者は当直をおこなう。（1 日あたり学生 1 名まで）

学生 PHS を携帯し、院内で待機する。

（医療情報部の上の階の仮眠室を使用可）

分娩・緊急手術・母体搬送などがあれば立ち会う。

夕食も当直医と共にする。

⑦ 口頭試問

それぞれに 1 つずつテーマを選び、自分のテーマについて Power point を作成し、口頭試問でお互いに発表してもらいます。7 分で発表、質疑応答を 3 分。質疑応答は学生間でしてもらいます。口頭試問までに Power point を作成し、当日データを USB に入れて持参してください。枚数や形式に関しては自由です。

口頭試問の最後にアンケートを秘書に提出してください。記載内容は批判的なものでも構いません。我々のフィードバックに活用しますので記載お

	願います。なおアンケートは評価の対象ではないためどのような内容を書いても加点も減点もありません。 未提出、または提出しても記載がない場合については産科婦人科のBSL評価しませんので注意してください。
到達目標	1) 正常の妊娠、出産と産褥の基本的な管理についての知識を習得する。 2) 下記の主な疾患、症候や病態を診察し、診断と治療計画の立案・実施に参加できる。 症例：【産科】正常妊娠・分娩・産褥 流産・不育症 早産 異常妊娠、異常分娩 妊娠高血圧症 【婦人科】子宮・卵巣の腫瘍 骨盤内炎症性疾患 性感染症 子宮内膜症 子宮筋腫 更年期障害・不正性器出血 月経異常 不妊症 避妊指導
実習評価	1：課題（5点×2） オリエンテーション時に課題を発表します。点数（10点）が不要であれば提出しなくても構いません。 2：実習（15点×3） 実習（内診、エコー、分娩）は実習内の態度や理解度に応じて15点満点で評価する。公休の場合でも実習には参加していないため実習評価に関しては0点とする。希望者は別途レポート提出等の課題を与え救済措置をとる（各15点満点）。 3：口頭試問（45点） 口頭試問に関しては発表内容や発表態度などを45点満点で評価する。 公休の場合はパワーポイントの提出のみ（35点満点となります）or 別日に発表機会を設ける（45点満点）を選択してください。 4：減点について 無断欠席や無断退席、無断帰宅の場合参加資格剥奪（0点）となるので、必ず連絡すること。また遅刻は1回につき2点減点とする。

	合計100点満点で評価する。 参加態度や見学態度が悪い者に関しては減点もしくは参加資格剥奪（0点）とする。 【主な評価項目】 共通評価項目（医療面接，身体診察，診療記録，症例の理解，コミュニケーション力，診療態度・責任感，自己学習態度，症例プレゼンテーション）に加え、診療科評価項目として下記についても評価する。 1) 女性生殖器の発生，解剖，生理，病理を理解し，診察ができる 2) 分娩機転を理解し，正常分娩の介助ができる 3) 超音波検査で胎位や胎児発育の評価ができる 4) 担当患者の術式が説明できる 5) 担当患者の治療・投薬の根拠について述べるができる
オリエンテーション	原則初日の月曜日午前9時00分に産科婦人科医局に集合すること。 ※前週に班長に集合時間等の連絡をメールで行います。班長は班員へ転送をお願いします。
服装に関する留意事項	標準的な服装

ユニット	ユニット F
サブユニット名	発達(小児科)
BSL担当教員 ／連絡先	小児科 富岡和美 (連絡先：小児科医局／内線 6090, PHS 72426)
実習担当教員	内科系講座 小児科学分野 野津 寛大 教授 藤岡 一路 准教授 山本 暢之 講師 榊原 菜々 助教 富岡 和美 助教 二野 菜々子 助教 坊 亮輔 助教 堀之内 智子 助教 芦名 満理子 助教 阿部 真也 助教(若手) 内科系講座 小児科学分野・こども急性疾患学部門・こども急性疾患学領域 田村 彰広 特命講師 近藤 淳 特命助教 城戸 拓海 特命助教 内科系講座 小児科学分野・こども急性疾患学部門・小児統合健康学領域 永瀬 裕朗 特命教授 京野 由紀 特命助教 内科系講座 小児科学分野・こども総合療育学部門 山口 宏 特命助教 徳元 翔一 特命助教
実習概要	小児科学は新生児から思春期までの患児を対象とする学問である。実習は内科系講座小児科学分野が担当する。小児は常に成長・発達過程にある。実習においては、それぞれの年齢における特有の生理的状态と成長・発達に伴う変化、および疾患の病態を理解する。すなわち外来および病棟で患児・家族と接する中において、小児期に特有な疾患に対する診断や管理の方法を学び、また、疾患のみではなく、社会的な側面も含めて人間として患児と接する態度を習得する。 ●外来実習：学生の希望や感染の流行具合などを考慮して、専門外来の見学などを行う。診断の技法、患児・家族に接する態度を習得する。 ●模型を使った処置実習：シミュレータを用いて、小児科における手技を実践・習得する。 ●新生児、乳幼児の診察講義：実際の症例を想定した新生児、小児に関する診察方法を少人数のハンズオン形式で行う。 ●講義：独学では学習しにくい分野まで踏み込んだ小児科講義を予定している。ただし、

	講義を対面で行うかどうかは学内および周囲での流行状況などを鑑みて、オリエンテーション時に指示する。 ●病棟・外来処置見学・新生児蘇生見学：実臨床での経験を通じて、小児に特有の診断・検査・面接の技法について研修する。帝王切開後の新生児蘇生や管理について経験する。 ●病棟診察：小児疾患は病状の変化がはやい。1日1回は必ず患児の診察を行い、担当医とのディスカッションを通じて、患児に対する理解を深める。2日目以降の学内実習では、新生児を担当する学生は朝8時にNICU内に集合する。その他の学生は各指導医に指示された時間・場所に集合する。 ●回診：＜火曜日＞原則、NICU回診は12時30分から開始するので、10分前には中央診療棟4階周産母子センターベビー室に入室し、NICU内に集合する。NICU回診終了後、13時30分よりこどもセンターカンファレンスと回診を開始するので、13時30分に病棟4階のカンファレンス室に集合する。 ＜金曜日＞ 13時30分よりこどもセンターにおいて小児科病棟医長カンファレンスを開始するので、5分前に病棟4階のカンファレンス室に集合する。 ●学外関連病院（地域の病院や開業医）においても実習を行い、プライマリケアを含め小児に対する幅広い臨床態度を習得する。
到達目標	1) 新生児から思春期までの成長・発達、年齢とともにダイナミックに変化する小児の生理的特徴を理解する。 2) 主訴から診断推論を組み立て、多くの鑑別診断をあげ、検査治療計画をたてる。 3) 患児および保護者からの効果的な問診方法を学ぶ。 4) 症例を簡潔に要約してプレゼンテーションできる。 5) 基本的な小児科診察技能を学ぶ。 6) 以下の小児疾患・病態について概説できる。 - 先天性疾患 - 新生児黄疸 - 新生児期の呼吸障害 - 早産および低出生体重児 - 血液・造血器・リンパ系疾患 - 神経系・筋疾患 - 循環器系疾患 - 呼吸器系疾患 - 腎・尿路系疾患 - 内分泌・栄養・代謝系疾患 - 感染症 - 免疫・アレルギー疾患

実習評価	実習全体を通じて、医療面接、身体診察、診療記録、コミュニケーション力、診療態度・責任感について評価する。また、実習の最終日に、担当症例に関するレポートを提出し、同時に行う試問により、症例の理解、自己学習態度、症例プレゼンテーション能力を評価する。さらに、小児に特徴的なバイタルサイン、検査所見、入退院適応についての知識を獲得できたかどうかを評価の対象とする。
オリエンテーション	初日の月曜日にオリエンテーションを行う。午前9時10分（初日の月曜日が休日の場合、火曜日午前9時10分）に外来診療棟6階 小児科医局にある遠隔医療室に集合する。
服装に関する留意事項	学内外の実習に適した標準的な服装とする。

産科婦人科 時間割

	AM		PM		AM	PM
1月23日	9:00 集合 (産科婦人科医局前) 9:10-11:30 外来見学 (笹川)		12:30-14:00 オリエンテーション 笹川先生 産科婦人科医局 14:10-15:40 分娩実習 笹川先生、富本先生 産科婦人科医局	1月30日	9:00-11:30 外来見学 (施)	14:00-15:00 婦人科ビデオ講義 西本先生 産科婦人科医局 15:30-17:00 内診実習 出口先生 産科婦人科医局
1月24日	9:00-10:30 婦人科講義 寺井先生 産科婦人科医局 10:30- 手術見学		手術見学	1月31日	手術見学	手術見学
1月25日	9:00-11:30 外来見学 (内田)		14:00-15:00 CTG,エコー講義 谷村先生 産科婦人科医局 15:30-17:00 エコー実習 施先生 地域活性化センター-B1	2月1日	9:00-11:30 外来見学 (内田)	13:00-14:00 産科ビデオ講義 内田先生 他 産科婦人科医局
1月26日	8:30-9:30 産科カンファ 産科婦人科医局		13:00-14:30 婦人科カンファ 産科婦人科医局 14:30-15:00 回診	2月2日	8:30-9:30 産科カンファ 産科婦人科医局	13:00-14:30 婦人科カンファ 産科婦人科医局 14:30-15:00 回診
1月27日	手術見学		手術見学	2月3日	手術見学	"15:00-17:00 口頭試験 今福先生 産科婦人科医局"

小児科時間割(1-3月)

A班														
8時 9時 10時 11時 12時 13時 14時 15時 16時 17時 18時														
A班月	9:10-オリエンション 富岡 遠隔医療室	担当患者紹介 各G 病棟	BSL 母子NICU/4南	BSL 母子NICU/4南										
A班火	BSL 母子NICU/4南	手術見学(新生児G)/ 4南処置あれば処置 見学	12:30-新生児回診 母子NICU	13:30-こどもセンター回診 4階カンファレンス室/4南病棟	BSL 母子NICU/4南	16:00-症例検討会 zoom								
A班水	BSL 4南/母子NICU	10:00 神経 富岡 遠隔医療室	10:30 乳幼児診察 遠隔医療室	BSL 母子NICU/4南										
A班木	開業医実習													
A班金	BSL 母子NICU/4南	11:00-講義 腎臓 腎G 遠隔医療	13:30-4南カンファ 4階カンファレンス室	模型を使った処置 小児リハビリ室										
8時 9時 10時 11時 12時 13時 14時 15時 16時 17時 18時														
A班月	BSL 母子NICU/4南													
A班火	BSL 母子NICU/4南	手術見学(新生児G)/ 4南処置あれば処置 見学	12:30-新生児回診 母子NICU	13:30-こどもセンター回診 4階カンファレンス室/4南病棟	BSL 母子NICU/4南	16:00-症例検討会 zoom								
A班水	関連病院実習													
A班木	BSL 母子NICU/4南	11:00 統括 富岡 遠隔	BSL 母子NICU/4南											
A班金	BSL 母子NICU/4南	9:00-口頭試問 野津 6階小児科 遠隔医療室	BSL 母子NICU/4南	13:30-4南カンファ 4階カンファレンス室	BSL 母子NICU/4南									

B班														
8時 9時 10時 11時 12時 13時 14時 15時 16時 17時 18時														
B班月	9:10-オリエンション 富岡 遠隔医療室	担当患者紹介 各G 病棟	BSL 母子NICU/4南	BSL 母子NICU/4南										
B班火	BSL 母子NICU/4南	手術見学(新生児G)/ 4南処置あれば処置 見学	12:30-新生児回診 母子NICU	13:30-こどもセンター回診 4階カンファレンス室/4南病棟	BSL 母子NICU/4南	16:00-症例検討会 zoom								
B班水	BSL 4南/母子NICU	10:00 神経 富岡 遠隔医療室	10:30 乳幼児診察 遠隔医療室	BSL 母子NICU/4南										
B班木	開業医実習													
B班金	BSL 母子NICU/4南	11:00-講義 腎臓 腎G 遠隔医療	13:30-4南カンファ 4階カンファレンス室	模型を使った処置 小児リハビリ室										
8時 9時 10時 11時 12時 13時 14時 15時 16時 17時 18時														
B班月	BSL 母子NICU/4南													
B班火	BSL 母子NICU/4南	手術見学(新生児G)/ 4南処置あれば処置 見学	12:30-新生児回診 母子NICU	13:30-こどもセンター回診 4階カンファレンス室/4南病棟	BSL 母子NICU/4南	16:00-症例検討会 zoom								
B班水	関連病院実習													
B班木	BSL 母子NICU/4南	11:00 統括 富岡 遠隔	BSL 母子NICU/4南											
B班金	BSL 母子NICU/4南	9:00-口頭試問 野津 6階小児科 遠隔医療室	BSL 母子NICU/4南	13:30-4南カンファ 4階カンファレンス室	BSL 母子NICU/4南									

ユニット	ユニットG
サブユニット名	循環器1(循環器内科)
BSL担当教員 ／連絡先	久松 恵理子（連絡先：医局 078（382）5846、PHS 71108、ehsmt@med.kobe-u.ac.jp）
実習担当教員	内科学講座 循環器内科学分野 平田 健一 教授 地域社会医学・健康科学講座 医学教育学分野 小林 成美 特命准教授 内科学講座 循環器内科学分野 不整脈先端治療部門 福沢 公二 特命教授 内科学講座 循環器内科学分野 田中 秀和 准教授 内科学講座 循環器内科学分野 冠動脈疾患治療部 大竹 寛雅 准教授 内科学講座 循環器内科学分野 木内 邦彦 特命講師 内科学講座 循環器内科学分野 川森 裕之 助教 内科学講座 循環器内科学分野 高見 充 特命助教 内科学講座 循環器内科学分野 谷口 悠 特命助教 内科学講座 循環器内科学分野 鳥羽 敬義 特定助教 内科学講座 循環器内科学分野 福田 旭伸 特定助教 内科学講座 循環器内科学分野 久松 恵理子 特定助教
実習概要	① 入院患者さんを1人1名担当する。入院中は毎日訪室し医療面接と診察を行う。1週目に現病歴を完成させ、2週目には症例プレゼンテーションを行う。 ② 心電図検査、心エコー検査、心音聴診実習（イチロー）は臨床基本技術トレーニングセンターにて行う。2週目に心音聴診テストと心電図口頭試問を行う。 ③ アドバンスの学修のために各教官より講義がある。カテ室、心エコー室での検査、治療見学は適宜行う。
到達目標	コアカリにおける関連項目：A-1 プロフェッショナリズム、A-2 医学知識と問題対応能力、A-3 診療技能とケア、A-4 コミュニケーション能力、D-5 循環器系、F-1 症候・G-2 臨床推論（ショック、心停止、失神、めまい、浮腫、咳・痰、呼吸困難、胸痛、動悸、胸水）、F-2 基本的診療知識（臨床推論、EBM、臨床検査、放射線等を用いる診断と治療、超音波を用いる診断と治療、薬物治療）、F-3 基本的診療技術（臨床診断推論、医療面接、臨床判断、身体診察、基本的臨床手技）、G-3 基本的臨床手技（12誘導心電図を記録できる、心臓の超音波検査を実施できる、経皮的酸素飽和度を測定できる）
実習評価	上記の循環器内科到達目標を評価基準とし、各小テスト、症例プレゼンテーションのパフォーマンス、出席状況などを総合して評価を行う。
科目別試験	実施しない。
オリエンテーション	前週の金曜日までに担当教官 久松と連絡をとり、実習の開始や集合に変更がないかを確認する。オリエンテーションは初日の月曜の担当症例の紹介時に行う。
服装に関する留意事項	白衣と名札を必ず着用し、清潔な服装に心がけ、患者さんに失礼のない身だしなみに留意してください。スクラブ可。聴診器を持参すること。

ユニット	ユニットG																																				
サブユニット名	循環器 2（心臓血管外科）																																				
BSL 担当教員 ／連絡先	宮原 俊介（連絡先：宮原／73307 医局／内線 5942）																																				
実習担当教員	<table><tr><td>外科学講座</td><td>心臓血管外科学分野</td><td>岡田 健次</td><td>教授</td></tr><tr><td>外科学講座</td><td>心臓血管外科学分野</td><td>高橋 宏明</td><td>准教授</td></tr><tr><td>外科学講座</td><td>心臓血管外科学分野</td><td>山中 勝弘</td><td>講師</td></tr><tr><td>外科学講座</td><td>心臓血管外科学分野</td><td>宮原 俊介</td><td>特命講師</td></tr><tr><td>外科学講座</td><td>心臓血管外科学分野</td><td>幸田陽次郎</td><td>特定助教</td></tr><tr><td>外科学講座</td><td>心臓血管外科学分野</td><td>河野 敦則</td><td>特定助教</td></tr><tr><td>外科学講座</td><td>心臓血管外科学分野</td><td>井上 大志</td><td>特定助教</td></tr><tr><td>外科学講座</td><td>心臓血管外科学分野</td><td>長命 俊也</td><td>特定助教</td></tr><tr><td>外科学講座</td><td>心臓血管外科学分野</td><td>長谷川翔大</td><td>特定助教</td></tr></table>	外科学講座	心臓血管外科学分野	岡田 健次	教授	外科学講座	心臓血管外科学分野	高橋 宏明	准教授	外科学講座	心臓血管外科学分野	山中 勝弘	講師	外科学講座	心臓血管外科学分野	宮原 俊介	特命講師	外科学講座	心臓血管外科学分野	幸田陽次郎	特定助教	外科学講座	心臓血管外科学分野	河野 敦則	特定助教	外科学講座	心臓血管外科学分野	井上 大志	特定助教	外科学講座	心臓血管外科学分野	長命 俊也	特定助教	外科学講座	心臓血管外科学分野	長谷川翔大	特定助教
外科学講座	心臓血管外科学分野	岡田 健次	教授																																		
外科学講座	心臓血管外科学分野	高橋 宏明	准教授																																		
外科学講座	心臓血管外科学分野	山中 勝弘	講師																																		
外科学講座	心臓血管外科学分野	宮原 俊介	特命講師																																		
外科学講座	心臓血管外科学分野	幸田陽次郎	特定助教																																		
外科学講座	心臓血管外科学分野	河野 敦則	特定助教																																		
外科学講座	心臓血管外科学分野	井上 大志	特定助教																																		
外科学講座	心臓血管外科学分野	長命 俊也	特定助教																																		
外科学講座	心臓血管外科学分野	長谷川翔大	特定助教																																		
実習概要	担当症例において、術前評価、手洗い、手術見学、術後管理について学習する。OSCE 対応のため、いくつかのユニットを通して、診察の実技訓練を行う予定になっている。本ユニットでは胸部診察および心音聴取を受け持つ。胸部の診察法の原則と視診、打診、聴診、触診の実際を、循環器疾患について訓練する。																																				
到達目標	1）患者とのコミュニケーション、問診をはじめとした診察方法の習得。 2）疾患の病態生理、術前評価、手術、術後管理の内容理解。 3）ガウンテクニックなどの外科的手技を理解し習得する。																																				
実習評価	出席が前提です。 実習であるので、一定の出席率に達しないものは不合格とする。 出席以外の評価項目は、担当症例の発表、などでの到達度と、主治医団のなかでの熱意、患者関係、他の医療スタッフとの関係、診察手技の習熟、最後の実習評価における実習成果の評価により行う。																																				
オリエンテーション	各班 BSL 開始日までにグループのリーダーと電話またはメール（宮原 miyahara@med.kobe-u.ac.jp ）で連絡して感染レベルに応じた授業形態を確認します。 通常、月曜日午前 7 時 40 分に外来診療棟 5 階、心臓血管外科医局に集合です。 なお、同時間はカンファレンス中であるため、静かに入室してください																																				
服装に関する留意事項	別途策定する標準的服装でお願いします。派手なマスクは控えてください。																																				

ユニット	ユニット G
サブユニット名	麻酔(麻酔科)
BSL担当教員 ／連絡先	麻酔科 法華 真衣 (連絡先: PHS 74542) / 医局 内線 6172 麻酔科 上野 喬平 (連絡先: PHS 74513) / 医局 内線 6172
実習担当教員	外科系講座 麻酔科学分野 溝渕 知司 教授 外科系講座 麻酔科学分野 佐藤 仁昭 准教授 医学部附属病院 麻酔科 小幡 典彦 講師 医学部附属病院 麻酔科 野村 有紀 講師 医学部附属病院 手術部 岡田 雅子 助教 医学部附属病院 麻酔科 大井 まゆ 助教 医学部附属病院 麻酔科 牛尾 将洋 助教 外科系講座 麻酔科学分野 田口 真也 助教 外科系講座 麻酔科学分野 巻野 将平 助教 医学部附属病院 麻酔科 法華 真衣 助教 医学部附属病院 集中治療部 古島 夏奈 助教 医学部附属病院 麻酔科 吉田 卓矢 助教 医学部附属病院 集中治療部 西村 太一 助教 医学部附属病院 麻酔科 上野 喬平 特定助教
実習概要	手術室では毎日 1-3 例の麻酔を見学し、周術期の患者管理の実際を学ぶ。担当患者の術前評価、術中・術後管理について理解する。 集中治療室では、術後患者や重症患者の臓器機能の評価と臓器不全時の補助法について学ぶ。 術前外来及びペインクリニック外来では、術前評価や患者への説明など、及び急性痛・慢性痛の治療の実際を学ぶ。 感染対策に十分な配慮を行うことを心がける。
到達目標	1. 麻酔の概念、種類と麻酔時の生体反応を説明できる。 2. 麻酔管理を安全に行うための術前評価と呼吸管理を概説できる。 3. 麻酔薬と筋弛緩薬の種類と使用上の原則を説明できる。 4. 吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌、方法、事故と合併症を概説できる。 5. 気管挿管を含む各種の気道確保法を概説できる。 6. 局所麻酔、末梢神経ブロック、神経叢ブロック、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔の適応、禁忌と合併症を概説できる。 7. 安全な麻酔のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法を概説できる。 8. 悪性高熱症や神経筋疾患患者における麻酔管理上の注意点を概説できる。 9. 基本的バイタルサイン(体温、呼吸、脈拍、血圧)の意義とモニターの方法を説明できる。 10. 周術期管理における事前のリスク評価を説明できる。 11. 周術期における主な薬剤の服薬管理(継続、中止等)の必要性和それに伴うリスクの基本を説明できる。

	12. 周術期管理における輸液・輸血の基本を説明できる。 13. 術後痛の管理を説明できる。 14. 集中治療室の役割を概説できる。
実習評価	出席状況、実習態度および理解度から評価する。 BSL 実習中に上記到達目標内容に順じた小テストを行う。 麻酔に関する英語論文（BEEF にて提示）について最終日までにレポートを提出する。 最終日に総括を行う。
オリエンテーション	実習初日のカンファレンス時に麻酔科実習全般のオリエンテーションを行う。 実習 2 日目以降は、毎朝 8 時 20 分に麻酔科控え室に集合し、当日の予定を再確認する。
服装に関する留意事項	清潔かつ患者さんや周りのスタッフに不快感を与えない服装。 手術室内ではゴーグル、マスク、キャップを常に身につけておく。

循環器内科（2023年1月～）										前週金曜日まで担当教官 久松と連絡をとり、実習の開始や集合の確認をしてください。オリエンテーションは初日の月曜の担当症例の紹介時に行います。			
		7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
循環器内科 (A) 第3週 (B) 第1週	月							※担当症例紹介 (小林)	※担当症例紹介 (久松)	病棟実習	心エコー検査の解釈 講義 (小田島)		
	集合場所							医局	7階北病棟		医局		
	火			心音聴診実習 シミュレーター使用 (小林)	心電図検査実習 (小林)			病棟実習		画像診断講義 (伊澤)			
	集合場所			地域医療活性化センター (地下1階)						web			
	水			心電図の読み方 講義 (高見)	血行動態の評価 講義 (福田)			病棟実習					
	集合場所			web	web								
	木			8:30～ チャートカンファレンス (久松、小林) 病歴プレゼンテーション		不整脈の診断と治療 講義 (木内)		病棟実習					
	集合場所			病棟7階カンファレンス室		病棟7階カンファレンス室							
	金			カテ室見学 (鳥羽)				病棟実習		心不全 講義 (田中)			
	集合場所			低侵襲棟1階						web			
救急患者対応などにより、予定時刻を過ぎても担当教員が来ない場合があるかも知れません。 その場合は、医局秘書さんに連絡し指示を仰いでください。医局内線5846、078(382)5846、e-mail:junnai@med.kobe-u.ac.jp 講義の時間再設定は班長にメール等で連絡します。(ZOOM利用の講義も同様です。)													
		7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
循環器内科 (A) 第4週 (B) 第2週	月			TAVI、心カテ 講義 (川森)				病棟実習		心エコー実習 (山内)			
	集合場所			web						地域医療活性化センター			
	火							循環器疾患の最先端治療 講義 (平田)					
	集合場所							医局					
	水		8:10～ CVC		心電図発表 口頭試問			虚血性心疾患 講義 (大竹)	肺高血圧症 講義 (谷口)				
	集合場所		web		web			web	web				
	木			8:30～ チャートカンファレンス (久松、小林) 症例プレゼンテーション		心音聴診テスト (小林)		病棟実習					
	集合場所			病棟7階カンファレンス室		医局							
	金			※希望者のみ カテ室 / 外来見学 (鳥羽 / 小林、久松)					実習まとめ (久松)				
	集合場所			侵襲棟1階/2階外					web				

心臓血管外科（グループA-第1週、グループB-第3週）

		7:00	7:45～	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
心臓血管外科 (A)第1週 (B)第3週	月	ICU重症回診 (BSL希望者2～3名)	オリエンテーション 担当症例紹介 自己紹介		講義	1名:手術参加			講義/糸 結び講座			
						2～3名:手術見学						
						2～3名:ガーゼ交換						
	集合場所		心外医局		手術室(2または3室)							
	火	ICU重症回診 (BSL希望者2～3名)	AS カンファレンス 症例検討会		講義	1名:手術参加			講義			
						2～3名:手術見学						
						2～3名:ガーゼ交換						
	集合場所	ICU入口	心外医局		手術室(午前:2または3室、午後11室)							
	水	ICU重症回診 (BSL希望者2～3名)	CVC	症例 検討会	講義	1名:手術参加						
						2～3名:手術見学						
						2～3名:ガーゼ交換						
	集合場所	ICU入口	病棟7階カンファレン スルーム(CVC)	心外医局	手術室(2または3室)							
木	ICU重症回診 (BSL希望者2～3名)	症例検討会		講義	1名:手術参加							
					2～3名:手術見学							
					2～3名:ガーゼ交換							
集合場所	ICU入口	心外医局		手術室(午前:2または3室、午後11室)								
金	ICU重症回診 (BSL希望者2～3名)	症例検討会		講義	1名:手術参加							
					2～3名:手術見学							
					2～3名:ガーゼ交換							
集合場所	ICU入口	心外医局		手術室(午前:2または3室、午後11室)								

麻酔科（グループA-第2週、グループB-第4週）													
		7:30	8	9	10	11	12	13	14	15	15:30	17	
麻酔科 （A）第2週 （B）第4週	月		カンファレンス 自己紹介	オリエンテー ション	麻酔実習		麻酔実習・術後回診						
	集合場所		CR	CR	手術室各室		手術室各室						
	火			麻酔実習				麻酔実習・術後回診					
	集合場所			手術室各室				手術室各室					
	水			麻酔実習				麻酔実習・術後回診					
	集合場所			手術室各室				手術室各室					
	木			小テスト	前外来・ペインクリニック外				ICU実習	テスト確認			
	集合場所			CR	外来				集中治療室	手術室各室			
	金			麻酔実習					総括				
	集合場所			手術室各室					ZOOM予定(自宅などにて)				

CR: 手術部カンファレンスルーム

ユニット	ユニットH		
サブユニット名	耳鼻(耳鼻咽喉・頭頸部外科)		
BSL担当教員／連絡先	下田 光 (連絡先：医局／内線 6024, PHS 73933)		
実習担当教員	外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野	丹生 健一	教授
	外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野	柿木 章伸	特命教授
	外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野	藤田 岳	准教授
	外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野	四宮 弘隆	特命准教授
	外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野	手島 直則	講師
	外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野	古川 竜也	講師
	外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野	上原 奈津美	助教
	外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野	蓼原 瞬	病院講師
	外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野	入谷 啓介	助教
	外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野	下田 光	助教
	外科系講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野	由井 光子	助教
	兵庫県立がんセンター 頭頸部外科	岩江 信法	臨床教授
	神戸労災病院 耳鼻咽喉科	細見 慶和	臨床教授
	兵庫県立こども病院 耳鼻咽喉科	大津 雅秀	臨床教授
	いのうえ耳鼻咽喉科クリニック	井上 博之	非常勤講師
	ふじしま耳鼻咽喉科クリニック	藤島 禎弘	非常勤講師
	はせがわ耳鼻咽喉科クリニック	長谷川 信吾	非常勤講師
	にしかわ耳鼻咽喉科	西川 匡	非常勤講師
	古閑耳鼻咽喉科クリニック	古閑 紀雄	非常勤講師
	森本耳鼻咽喉科	森本 浩一	非常勤講師
	加古川中央市民病院	井之口 豪	非常勤講師
	金城耳鼻咽喉科	金城 東和	非常勤講師
はら耳鼻咽喉科	森田 成彦	非常勤講師	
実習概要	耳鼻咽喉・頭頸部外科の診療領域には、感覚器である耳をはじめ、気道である鼻腔・喉頭・気管、食物路である口腔・咽頭・食道、さらに唾液腺、甲状腺といった外・内分泌腺などさまざまな臓器が含まれます。耳鼻咽喉・頭頸部外科では呼吸や嚥下といった生命維持に必須の機能から、発声・構音などの音声機能、聴覚・平衡覚・味覚・嗅覚など「ヒト」が「人」らしく生きていくための感覚機能まで幅広い分野の疾患を取り扱います。		
	外来実習では、初診および専門外来（耳外来、めまい外来、喉頭外来、甲状腺・唾液腺外来）に参加して診療の実際を学びます。聴力検査、頸部超音波検査の手技を実際に体験して学習します。手術室では積極的に手洗いして手術に参加することにより、耳鼻咽喉科および頭頸部外科領域の解剖と手術の実際について理解を深めます。手術症例は術中所見を見学するだけでなく、基本的な外科手技について学習します。また、シミュレーターを用いた喉頭内視鏡検査および耳鏡検査や3Dプリンター作成モデルを用いた鼻内内視鏡手術および側頭骨手術を体験し、耳鼻咽喉科の魅力を体感してもらいます。臨床講義では大学以外の病院または診療所の講師による実地診療に関する講義を聞き、耳鼻咽喉科の種々の診療内容について理解を深めてもらいます。ユニット開始までに系統講義プリントの内容について十分に復習し、手術見学にあたっては、耳鼻咽喉・頭頸部領域の解剖をよく勉強しておいて下さい。		

到達目標	耳鼻・咽喉・口腔の構造と機能を理解し、耳鼻・咽喉・口腔系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。以下の実習項目を習得する。 ①耳（耳介、聴力）の診察ができる。 ②耳鏡で外耳道、鼓膜を観察できる。 ③聴力試験を実施できる。 ④口唇、口腔、咽頭、扁桃の診察ができる。 ⑤鼻腔、副鼻腔の診察ができる。 ⑥鼻鏡および内視鏡を用いて鼻腔、咽喉頭を観察できる。 ⑦甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺の診察ができる。 ⑧頭頸部リンパ節の診察ができる。
実習評価	耳鼻咽喉・頭頸部外科ではBSL評価項目に基づき、出席状況、学習課題のレポート、耳鼻咽喉科に関する基本的実習の理解度および学習態度などを総合して判定します。レポート課題はBEEFに掲載しますので、班員で選択課題が重複しないように調整してください。実習期間中にオンライン（BEEF上）で確認テストを実施します。 BSL診療科評価項目①清潔操作および手術介助ができる②聴力検査ができる③耳鏡検査ができる④喉頭内視鏡検査ができる⑤頸部超音波検査ができる
オリエンテーション	集合オリエンテーションは中止しているため、事前にBEEFで実習についての詳細を確認すること。月曜日（実習初日）は2グループに分かれて手術見学を実施する。手術日の担当教員については耳鼻咽喉科医局へ問い合わせてください。
服装に関する留意事項	特になし

ユニット	ユニット H			
サブユニット名	形成(形成外科)			
BSL担当教員 ／連絡先	原岡 剛一 (連絡先：医局／内線 6251, PHS 74400) 栞水流 健二 (連絡先：医局／内線 6251, PHS 74220)			
実習担当教員	外科系講座	形成外科学分野	寺師 浩人	教授
	外科系講座	形成外科学分野	原岡 剛一	特命准教授(美容外科)
	外科系講座	形成外科学分野	野村 正	准教授
	外科系講座	形成外科学分野	辻 依子	特命教授(足病医学部門)
	外科系講座	形成外科学分野	榊原 俊介	特命講師
	外科系講座	形成外科学分野	政岡 浩輔	特定助教
	外科系講座	形成外科学分野	武田 玲伊子	特命助教(足病医学部門)
	外科系講座	形成外科学分野	栞水流 健二	特定助教(美容外科)
	外科系講座	形成外科学分野	青木 大地	特定助教
	外科系講座	形成外科学分野	後村 大祐	特命助教
	外科系講座	形成外科学分野	上田 美怜	特定助教
	<学外実習担当講師>			
	神戸赤十字病院形成外科		西尾 優志	部長
	淀川キリスト教病院形成外科		大守 誠	部長
	加古川医療センター形成外科		櫻井 敦	部長
	神鋼記念病院形成外科		奥村 興	部長
	新須磨病院形成外科		北野 豊明	医長
	明和病院形成外科		吉岡 剛	医長
	宝塚市立病院形成外科		見目 和崇	主任部長
	三田市民病院形成外科		中山 真紀	医長
	姫路医療センター形成外科		石田 泰久	医長
	加古川中央市民病院形成外科		岩谷 博篤	主任科部長
	甲南医療センター形成外科		芝岡 美枝	部長
	はりま姫路総合医療センター		小川 晴生	診療科長
実習概要	ミニレクチャー、術前・術後カンファレンス、外来、手術見学・手洗い実習、学外実習を通じて形成外科の取り扱い疾患について学ぶ。また、縫合実習を行い、形成外科の基本手技について触れ、理解する。カンファレンス時に担当症例の割り当てを行うので、その症例について、手洗い実習・手術見学を行い、実習後にレポートを提出する(提出先：形成外科学教室 提出期限：翌週月曜 17 時、翌週月曜日が祝日の場合は休み明け初日に提出)。			
到達目標	1) 形成外科の取り扱い疾患について理解する。 2) 創傷治癒の基本事項について理解する。 3) 外傷、再建外科など形成外科の治療手技について学習する。 4) 縫合実習・手洗い実習を通じて、形成外科の手術について理解を深める。 5) 担当した症例について、実習後に診断、治療方針、治療法などを含め勉強し、レポートを作成する。			
実習評価	出席状況、実習態度、担当した症例レポートの内容などにより総合的に評価を行う。			
科目別試験	施行しない。			
オリエンテーション	月曜 9:00 に形成外科学教室(※中央診療棟 7F)に集合。 なお、月曜日が祝日の場合、火曜 9:30 に形成外科学教室に集合のこと。 ※輸血部や研修医室と同じ棟です。			
服装に関する留意事項	別途策定の標準的な服装を心がける。			

ユニット	ユニット H
サブユニット名	眼(眼科学)
BSL担当教員 ／連絡先	坂本 麻里 (連絡先:医局/内線 6048, PHS 73809)
実習担当教員	外科系講座 眼科学分野 中村 誠 教授 外科系講座 眼科学分野 中西 裕子 准教授 外科系講座 眼科学分野 楠原 仙太郎 講師 外科系講座 眼科学分野 今井 尚徳 講師 外科系講座 眼科学分野 長井 隆行 病院講師 外科系講座 眼科学分野 三木 明子 助教 外科系講座 眼科学分野 松宮 亘 助教 外科系講座 眼科学分野 上田 香織 助教 外科系講座 眼科学分野 坂本 麻里 助教 外科系講座 眼科学分野 山田 裕子 助教
実習概要	眼球の構造と解剖、眼科主要症候・疾患に関する臨床講義と、症例検討を行います。 実習では、眼科基本診察手技、視力検査、眼底検査および模擬眼を使った白内障手術実習を行います。一部実習には課題レポートがあります。また、手術室での眼科マイクロサージャリーの見学と、学外関係病院実習があります。実習期間中には国家試験対策の問題集を読破し、最後に実際の試験問題を用いた小テストを行います。
到達目標	1. 眼球の構造と機能について基本的事項を理解する。 2. 眼科主要症候について理解する。 3. 視力検査、細隙灯顕微鏡検査、眼底検査について基本的事項を理解する。 4. 眼科マイクロサージャリーについて基本的事項を理解する。また模擬眼で白内障手術の基本操作を体験する。 5. 眼科主要疾患(白内障、緑内障、網膜硝子体疾患)について、症候、検査、診断、治療法を理解する。
実習評価	出席状況、実習態度、課題レポート、小テストにより総合的に評価を行う。
オリエンテーション	初日午前眼科学教室にてオリエンテーションを行う。 事前に BEEF で実習スケジュールについて確認すること。 ※時間割は適宜変更になることがあります、その都度連絡します。 担当教員から実習前日までにメール連絡がありますので、メールをチェックして下さい。
服装に関する留意事項	別途策定する標準的な服装を心がける。

ユニット	ユニットH
サブユニット名	皮膚(皮膚科)
BSL担当教員 ／連絡先	山野 希 (連絡先：医局／内線 6134, PHS 72521)
実習担当教員	内科系講座 皮膚科学分野 久保 亮治 教授 内科系講座 皮膚科学分野 国定 充 准教授 内科系講座 皮膚科学分野 小野 竜輔 講師 内科系講座 皮膚科学分野 藤原 進 講師 内科系講座 皮膚科学分野 福本 毅 助教 内科系講座 皮膚科学分野 織田 好子 助教 内科系講座 皮膚科学分野 新川 衣里子 助教 内科系講座 皮膚科学分野 今村 真也 助教 内科系講座 皮膚科学分野 山野 希 助教
実習概要	皮膚科では、外来診療における問診、視診、触診を通して様々な皮膚疾患に触れ、診断に至る考え方、鑑別診断ならびに治療法の選択について学ぶ。火曜日の症例カンファレンスでは皮膚病変のマクロとミクロ（病理組織）から鑑別疾患を挙げ、診断に至るプロセスを学ぶ。水曜日に皮膚外科手術の見学を行うが、できる限り手洗いをしたうえで、皮膚科で扱う疾患の特性を学ぶ。担当教員による各疾患群についてのミニレクチャーが行われ皮膚疾患に対する理解を深める。
到達目標	1) 皮膚の構造と機能の理解 2) 発疹を中心とした皮膚科症候学、記載皮膚科学、皮膚科学的診察の基本と、鑑別診断のための検査方法を学ぶ。 3) 皮膚の代表的な疾患群（湿疹、蕁麻疹、紅斑症、紫斑、薬疹、水疱症、膿疱症、角化症、皮膚感染症、皮膚腫瘍、皮膚付属器疾患）について基本的な病態、症状、治療法を理解する。
実習評価	皮膚科では、レポート提出の他、以下の点から各講義の担当医、配属患者の担当医の意見も勘案して最終評価を行う。 1 配属患者との意志疎通は円滑であったか 2 配属症例の病態の把握とその報告が適切にできたか。 3 配属症例の病態から適切に問題を抽出し、その解決ができたか。 4 配属症例の診断と治療の場において積極的に参加したか。 5 皮膚科に関する基本的な知識が十分であったか。 6 講義や外来見学における態度、意欲が適切であったか。 7 適切に皮膚縫合が行うことができたか。 8 適切に皮疹の所見を述べることができたか。
科目別試験	筆記試験は実施せず。
オリエンテーション	実習初日 8時45分に皮膚科外来5診に集合（担当；山野）。
服装に関する留意事項	特に規定なし。 外来にて予診をとってもらいますので、外来見学中の私語、腕や足を組む、スマホの操作などの礼儀を欠いた患者の前での行為は厳禁とする。

耳鼻科

	9	10	11	12	13	14	15	16	17
耳鼻咽喉・頭頸部外科 (A) 第1週 (B) 第3週	月		手術見学 A (B) 1 9:30-12:30			手術見学 A (B) 2 13:00-16:00			
	集合場所		手術室			手術室			
	火	外来見学 初診・耳・めまい A (B) 1	外来見学 初診・耳・めまい A (B) 2			実習(全員) 診察法：上原	聴力検査実習 前半 A1 後半 A2		
	集合場所	外来診療棟 3F 耳鼻外来				医局 カンファレンス室			
	水	外来見学 初診・喉頭 A (B) 2	外来見学 初診・喉頭 A (B) 1			自習			
	集合場所	外来診療棟 3F 耳鼻外来							
	木	確認テスト (オンライン)				臨床講義 14:00- (学外講師)			
	集合場所					医局 カンファレンス室			
	金	手術見学 A2 9:00-10:30	手術見学 A1 10:30-12:00			レポート発表 ミニレクチャー 13:30-			
	集合場所	手術室				医局 カンファレンス室			

耳鼻科

	9	10	11	12	13	14	15	16	17
耳鼻咽喉・頭頸部外科 (A) 第1週 (B) 第3週	月	9:00～ オリエン テーショ	10:00～ 手術見学			実習 聴力検査	自習		
	集合場所	医局	手術室			外来			
	火	9:00～ 外来見学（初診、耳、めまい）			自習	実習 診察法			
	集合場所	外来				医局	病棟（6南）		
	水	9:00～ 外来見学（初診、喉頭、唾液腺・甲状腺）			自習	実習 頸部工コ－	自習		
	集合場所	外来				医局			
	木		10:00～ 神鈴会见学		自習	14:00～ 臨床講義 (学外講師)	小テスト		
	集合場所		心身障害福祉センター			医局	医局		
	金	9:00～ 手術見学			発表 準備	12:30～ レポート発表 (昼食)			
	集合場所	手術室				医局			

形成外科

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
形成外科 (A) 第2週 (B) 第4週	月	9:00～ オリエンテーション、 形成外科概論(政岡)		自習		再建外科・ 脈管病変 (榊原)	創傷治癒 (寺師教授 、青木)	自習			
	集合場所	形成外科学教室				形成外科学教室					
	火		9:30～ 縫合実習 (栗水流)	美容外科 (原岡)		13:15～ 教授回診 (政岡)	カンファレンス (青木、栗水流)				
	集合場所		形成外科学教室			5F南病棟					
	水	8:45～ 手術見学 (交代制)				手術見学 (交代制)					
	集合場所	手術室				手術室					
	木	8:50～ 外来見学 (後村)				褥瘡・難治性潰瘍外来 (寺師教授)					
	集合場所	形成外科外来				形成外科外来					
	金	学外実習									
	集合場所	各関連施設(オリエンテーションで詳細を伝えます)									

(眼科)												
週	曜日	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
第 1 週	月		9:15集合 眼科基本診察 中西						14:30(講) 症例検討 上田	15:30(講) 眼科手術 楠原		
	集合場所		眼科カンファレンスルーム (CR)						眼科CR	眼科CR		
	火		9:00 Case conference Prof. Nakamura	10:00 眼底検査 山田			手術見学(前半)					
	集合場所		眼科CR	眼科CR			手術室 13室・14室					
	水		9:00 Micro surgery 松宮	10:00 解剖・視力 長井	11:00(講) 網膜硝子 体 今井			14:30(講) 緑内障 坂本				
	集合場所		眼科CR	眼科CR	眼科CR			眼科CR				
	木		手術見学(後半)					関連病院実習				
	集合場所		手術室 13室・14室					関連病院				
	金		8:30 術後診察見学 専攻医		10:00 ま とめ・小テ スト 三木							
	集合場所		10北眼科病棟診察室		眼科CR							

皮膚科(グループAー第4週, グループBー第2週)

		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
皮膚科 (A)第4週 (B)第2週	月		8:45～ オリエンテー ション (山野)	外来見学				14:00-15:00 皮膚科 臨床講義 (国定)	15:00-16:00 皮膚科 臨床講義 (久保)	BSL	
	集合場所		皮膚科外来 5診	皮膚科外来診察室				病棟6Fカン ファレンスルー	病棟6Fカン ファレンスルー	6F北病棟	
	火			外来見学				13:45～ 症例検討会		15:45～17:00 症例検討会(病 理)	
	集合場所			皮膚科外来診察室				病棟6Fカンファレンスルーム			
	水		8:45手術場	手術見学				13:30-14:30 皮膚科 臨床講義 (福本)	BSL	15:30-16:30 皮膚科 臨床講義 (小野)	BSL
	集合場所		手術場乗換ホール	手術場				皮膚科外来処置室	6F北病棟	皮膚科外来1診	6F北病棟
	木			外来見学			BSL	14:00-15:00 皮膚科 臨床講義 (神保)	15:00-16:00 皮膚科 臨床講義 (藤原)	BSL	
	集合場所			皮膚科外来診察室			6F北病棟	皮膚科外来1診	皮膚科外来1診	6F北病棟	
	金			外来見学				13:30-15:00 試問 (国定)			
	集合場所			皮膚科外来診察室				4F第3会議室			

ユニット	ユニットI
サブユニット名	神経1(脳神経内科)
BSL担当教員 ／連絡先	関口 兼司 (連絡先：医局／内線 5885, PHS 71804)
実習担当教員	内科学講座 脳神経内科学分野 松本 理器 教授 内科学講座 脳神経内科学分野 関口 兼司 准教授 内科学講座 脳神経内科学分野 上田 健博 特命講師 内科学講座 脳神経内科学分野 千原 典夫 助教 内科学講座 脳神経内科学分野 十河 正弥 助教 内科学講座 脳神経内科学分野 関谷 博顕 助教
実習概要	【基本方針】サブユニット（神経1）では、「神経学的診察技術の体得と問題解決型臨床推理の体験」を目標とし、正しく神経学的所見をとることにより、責任病巣にせまる神経診断学の実際を中心に学ぶ。具体的には病棟実習で担当する症例の診察所見をとり、実際の病態との関連を評価する。また実習期間中に、臨床神経学全般の包括的な知識について、試験対策を通して復習する。 【講義】基本的に反転授業として、視聴動画の内容を後ほどディスカッションして互いの理解を確認するとともに、質問の仕方も学ぶ。 【実習】脳神経内科の診療に必要な代表的な手技である腰椎穿刺と筋電図検査について、シミュレーターや実装置を用いて体験し、その仕組みについて理解する。
到達目標	1) 神経系の正常構造と機能を理解する。 2) 神経学的診察法を修得し、局在診断の意義を理解する。 3) 主な神経系疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。
実習評価	評価は実習・講義など全カリキュラムへの出席と、まとめ試験の成績、レポート評価により行う。無断欠席、遅刻は不合格の対象となる。 また、以下の観点から、配属患者の担当医の意見も参考にして、評価を行う。 ・配属患者との意志疎通は円滑であったか。 ・配属症例の病態の把握とその報告が適切に出来たか。 ・神経学的診察ができ、所見のまとめと局在診断が出来たか。 ・配属症例の病態から適切に問題を抽出し、その解決が出来たか。 ・配属症例の診断と治療の場に積極的に参加したか。
科目別試験	科目別試験は行わない。ただし、脳神経内科は範囲が広く一週間のBSLでは到底全ての領域の学習は困難であるためBSLの期間の最後に全領域を対象としたまとめ試験を行う。
オリエンテーション	月曜9:00に外来棟6階大講義室に集合。 なお、月曜が祝日の場合は火曜日のカリキュラムから行う(その場合は病棟9階カンファレンス室に集合)。
服装に関する留意事項	患者さんと接する上で問題のない標準的な服装で参加する。必ずマスクを着用する。

ユニット	ユニットⅠ
サブユニット名	腫瘍血液(腫瘍・血液内科)
BSL担当教員／連絡先	船越 洋平 (連絡先：PHS 71922)
実習担当教員	内科学講座 腫瘍・血液内科学分野 南 博信 教授 内科学講座 腫瘍・血液内科学分野 清田 尚臣 特命准教授 内科学講座 腫瘍・血液内科学分野 薬師神公和 准教授 内科学講座 腫瘍・血液内科学分野 船越 洋平 助教 内科学講座 腫瘍・血液内科学分野 今村 善宣 助教 内科学講座 腫瘍・血液内科学分野 北尾 章人 特定助教 内科学講座 腫瘍・血液内科学分野 西村 明子 特定助教 内科学講座 腫瘍・血液内科学分野 山本 克也 非常勤講師 病理学講座 病理診断学分野 伊藤 智雄 教授 輸血・細胞治療部 川本 晋一郎 講師
実習概要	腫瘍・血液内科では、腫瘍の病態、診断と治療（薬物療法・集学的治療）を担当患者の診察を通して学ぶ。がん患者の診療においては、多様なニーズに対応することが必要であり、多職種連携・多職種協働を円滑に行い患者中心のチーム医療を実践する必要がある。実習では、診療チームに帯同し、がんのチーム医療についての理解を深める。また、腫瘍血液内科学に関連する実習や講義を、実践的な内容および形式で行うことで知識の習得を図る。各自1名ずつ、悪性疾患を有する患者を1週間担当し、病歴の聴取、診察手技、エビデンスに基づいた治療とエビデンスの批判的吟味、患者・家族・医療者とのコミュニケーションスキルを学び、症例レポートを作成する。 症例レポートは、一般的な患者背景と画像所見、検査所見の意義付け、患者さんのトータルの病態の説明、問題点に対する評価、治療方針についてまとめる。レポートには疾患の一般論だけではなく、担当症例の問題点を必ず考察する。担当教員およびグループ内でディスカッションを行えるように学習し、各症例を全体で共有することで理解を深める。
到達目標	・腫瘍の症候、グレードやステージ、病態、診断、治療を概説できる。 ・腫瘍の薬物療法（殺細胞性抗癌薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬、ホルモン療法）を概説できる。 ・腫瘍の診療における支持療法を概説できる。 ・腫瘍の診療におけるチーム医療を概説できる。 ・腫瘍性疾患をもつ患者の置かれている状況を適切に把握し、全人的ながん医療を理解する。
実習評価	・適切な医療面接や身体診察ができる。 ・症例を理解し、診療記録を適切に記載できる。 ・適切なコミュニケーションを通じて、患者・家族・医療者と良好な人間関係を築くことができる。 ・責任感をもって診療にあたることができる。 ・問題点を自己学習により解決することができる。 ・腫瘍の症候、グレードやステージ、病態、診断、治療を概説できる。 ・治療目的を理解して、エビデンスに基づいた治療、支持療法を説明できる。 ・診療チームの一員として診療に取り組んでいる。 ・適切に症例プレゼンテーションができる。
科目別試験	実施しない。
オリエンテーション	初日の9時より医局にて行う。内容はBeef 参照のこと。
服装に関する留意事項	入院患者を毎日回診するため、適切な服装を着用し、聴診器を常に携帯すること。

ユニット	ユニットⅠ
サブユニット名	精神(精神科神経科)
BSL担当教員 ／連絡先	精神医学分野 岡崎賢志（連絡先：医局 6065、PHS72631）
実習担当教員	内科系講座 精神医学分野 菱本 明豊 教授 内科系講座 精神医学分野 青山 慎介 准教授 内科系講座 精神医学分野 木村 敦 講師 内科系講座 精神医学分野 蓬萊 政 講師 内科系講座 精神医学分野 新名 尚史 助教 内科系講座 精神医学分野 岡崎 賢志 助教 内科系講座 精神医学分野 江口 典臣 助教 内科系講座 精神医学分野 大塚 郁夫 助教 内科系講座 精神医学分野 山木 愛久 助教
実習概要	精神科神経科では、外来実習では一般外来及び特殊外来における患者診察の実際を学ぶ。また病棟実習では、患者の主治医とともに精神医学の実際を学ぶ。これらを通して、面接法、問診法とともに、基本的な精神科診断学、治療論について学んでほしい。病院外実習および院内の作業療法実習では、精神科リハビリテーションの実際を学び、慢性患者の社会復帰、患者の人権および法的問題について知識を深める。これらは臨床医学全般に関わる課題であり、積極的な学習を期待する。また、BSL 期間中はケース検討の時間を設けている。教官が提示した症例を基に教官と学生で議論しながら能動的に学んで欲しい。4 年次チュートリアルで学んだことが実地にいかされ、治療論に系統的に展開できるような学習に努められたい。
到達目標	1) 患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。 2) 精神科診断分類法を説明できる。 3) 精神科医療の法と倫理に関する必須項目（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律等）を説明できる。 4) 統合失調症の症候と診断、救急治療を説明できる。 5) うつ病の症候と診断を説明できる。 6) 双極性障害（躁うつ病）の症候と診断を説明できる。
実習評価	1) 担当患者の診断根拠を述べることができる。 2) 担当患者の治療方針（薬物、精神療法、ケースワーク）を述べることができる。 3) ケース検討（統合失調症）において鑑別診断を述べることができる。 4) ケース検討（気分障害）において鑑別診断を述べることができる。 5) 作業療法実習で積極的に患者さんに関わることができる。
オリエンテーション	集合場所：外来診療棟 6 階精神科医局図書室 集合時間：月曜日 9 時 30 分（月曜日が祝日の場合は、火曜日 9 時 30 分）
服装に関する留意事項	関連病院の実習では、汚れてもよい、動きやすい服装で参加すること（女性の方はスカートやハイヒールはやめたほうが良いでしょう）。

週 曜 時間		9	10	11	12	13	14	15	16	17
脳神経内科 (A)第1週 (B)第3週	月		オリエンテーション ・実技指導(十河)			BSL	15:30まで に動画視聴		視聴後discuss	動画視聴
	集合場所		外来棟6階医局			9階病棟			脳卒中 (十河)	てんかん (松本教授)
	火	脳神経内科 カンファレンス		回診		15:30まで に動画視聴			ZOOM	BEEFから
	集合場所	9階カンファ室		病棟・KUMEX					神経変性 (上田)	
	水		外来(上田)		昼休憩	BSL			動画視聴	
			BSL						認知症 (関谷)	
	集合場所		外来(千原)			9階病棟			メールのリンクから	
	木		BSL		昼休憩	筋電図実習(関口)	15:30までに動画視聴 メールのリンクから		視聴後discuss	
			BSL			リンパバル実習(岡山)			筋電図 (関口)	
	集合場所		外来(松本)			入れ替え制			Horizon workrooms	
	金		教育カンファ (松本・十河)			まとめ試験 (上田)		レポート検討会 (松本教授)		
	集合場所		外来棟6階医局			ZOOM		ZOOM		

(診療科名) 腫瘍血液内科																
週	曜日	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
第 2 週 . 第 4 週	月			オリエン テーション 船越	病棟実習	昼食			ケースカン ファレンス 薬師神	CBCの 読み方 今村	病棟カンファレンス					
	集合場所			医局	病棟								医局	4北カンファレンス室		
	火		ラウンド ミーティング	Aチーム：外来 Bチーム：病棟実習		昼食			病理実習							
	集合場所		病棟	病棟・外来									病理学教室			
	水		ラウンド ミーティング	Bチーム：外来 Aチーム：病棟実習		昼食			骨髓標本 の見方 山本							
	集合場所		病棟	病棟・外来									医局			
	木		ラウンド ミーティング	病棟実習		昼食				講義 白血病 北尾	輸血部実習 川本					
	集合場所		病棟	病棟										医局	輸血部	
	金		ラウンド ミーティング			レポート検討 船越 薬師神	昼食		meet the professor 南教授	新患カンファレンス						
	集合場所		病棟			医局							医局	医局		

前半3名をAグループ残りをBグループとする。
 特に記載がなければ、病棟実習、レポート作成、講義予習の時間とする。
 連絡先： 船越 71922、薬師神 71907

精神科神経科													
週		曜		9	10	11	12	13	14	15	16	17	
(A) 第3週・(B) 第1週	月	I		ガイダンス (岡崎) (6階医局図書室)	病棟実習	昼食		チャートカンファレンス (岡崎) (6階医局図書室)		病棟実習／自習			
		II											
	火	I	外来見学／SC実習(西村) (精神科外来)				昼食	自己学習		心理検査 (岩本) オンデマンド	PSW講義 (千飯) オンデマンド		
		II	病棟実習／自習										
	水	I		症候学講義 (江口) Zoom		昼食		ひょうごこころの医療センター 学外実習					
		II											
	木	I	病棟実習／自習				昼食	病棟実習／自習		ビデオ講義 統合失調症 (岡崎) Zoom	ECT講義 (木村) Zoom		
		II											
	金	I	病棟実習／自習				昼食		茶話会 (菱本) Zoom	病棟実習／自習			
		II	外来見学／SC実習(西村) (精神科外来)										
週		曜		9	10	11	12	13	14	15	16	17	
(A) 第4週・(B) 第2週	月	I	外来見学／SC実習(西村) (精神科外来)				昼食		チャートカンファレンス (蓬萊) (6階医局図書室)	病棟実習／自習			
		II	病棟実習／自習										
	火	I	病棟実習／自習				昼食		作業療法実習(栗原) (清明寮2階OT室)				
		II	作業療法実習(栗原) (清明寮2階OT室)					病棟実習／自習					
	水	I	外来見学／SC実習(西村) (精神科外来)				昼食	病棟実習／自習		ケース検討 ① (岡崎) Zoom	ビデオ講義 気分障害 (岡崎) Zoom		
		II	病棟実習／自習										
	木	I	病棟実習／自習				昼食	病棟実習／自習		ケース検討 ② (山木) Zoom			
		II											
	金	I	病棟実習／自習				昼食	病棟実習／自習		レポート発表 (担当教員) (6階医局図書室)			
		II											
				まとめ試験(Google Forms): 第2週の木曜17時～金曜17時									
				TEDtalks課題レポート: 第2週金曜17時までに提出									

平成30年7月31日

「医学部の臨床実習において実施可能な医行為の研究 報告書」より一部抜粋

分類	① 必須項目 医師養成の観点から臨床実習中に <u>実施が開始されるべき医行為</u>	② 推奨項目 医師養成の観点から臨床実習中に <u>実施が開始されることが望ましい医行為</u>
診察	診療記録記載（診療録作成）※1 医療面接 バイタルサインチェック 診察法（全身・各臓器） 耳鏡・鼻鏡 眼底鏡 基本的な婦人科診察 乳房診察 直腸診察 前立腺触診 高齢者の診察（ADL 評価、高齢者総合機能評価）	患者・家族への病状の説明 分娩介助 直腸鏡・肛門鏡
一般手技	皮膚消毒 外用薬の貼付・塗布 気道内吸引※2 ネブライザー 静脈採血 末梢静脈確保※2 胃管挿入※2 尿道カテーテル挿入・抜去※2 注射（皮下・皮内・筋肉・静脈内） 予防接種	ギプス巻き 小児からの採血 カニューレ交換 浣腸
外科手技	清潔操作 手指消毒（手術前の手洗い） ガウンテクニック 皮膚縫合 消毒・ガーゼ交換 抜糸 止血処置 手術助手	膿瘍切開、排膿 嚢胞・膿瘍穿刺（体表） 創傷処置 熱傷処置
検査手技	尿検査 血液塗抹標本の作成と観察	血液型判定 交差適合試験

分類	① 必須項目 医師養成の観点から臨床実習中に <u>実施が開始されるべき医行為</u>	② 推奨項目 医師養成の観点から臨床実習中に <u>実施が開始されることが望ましい医行為</u>
	微生物学的検査（Gram 染色含む） 妊娠反応検査 超音波検査（心血管） 超音波検査（腹部） 心電図検査 経皮的酸素飽和度モニタリング 病原体抗原の迅速検査 簡易血糖測定	アレルギー検査（塗布） 発達テスト、知能テスト、心理テスト
救急※3	一次救命処置 気道確保 胸骨圧迫 バックバルブマスクによる換気 AED※2	電気ショック 気管挿管 固定など整形外科的保存療法
治療※4	処方薬（内服薬、注射、点滴など）のオーダー 食事指示 安静度指示 定型的な術前・術後管理の指示 酸素投与量の調整※5 診療計画の作成	健康教育

※1 診療参加型臨床実習実施ガイドライン「学生による診療録記載と文章作成について」を参考に記載する

※2 特にシミュレータによる修得ののちに行うべき

※3 実施機会がない場合には、シミュレータによる修得も可である

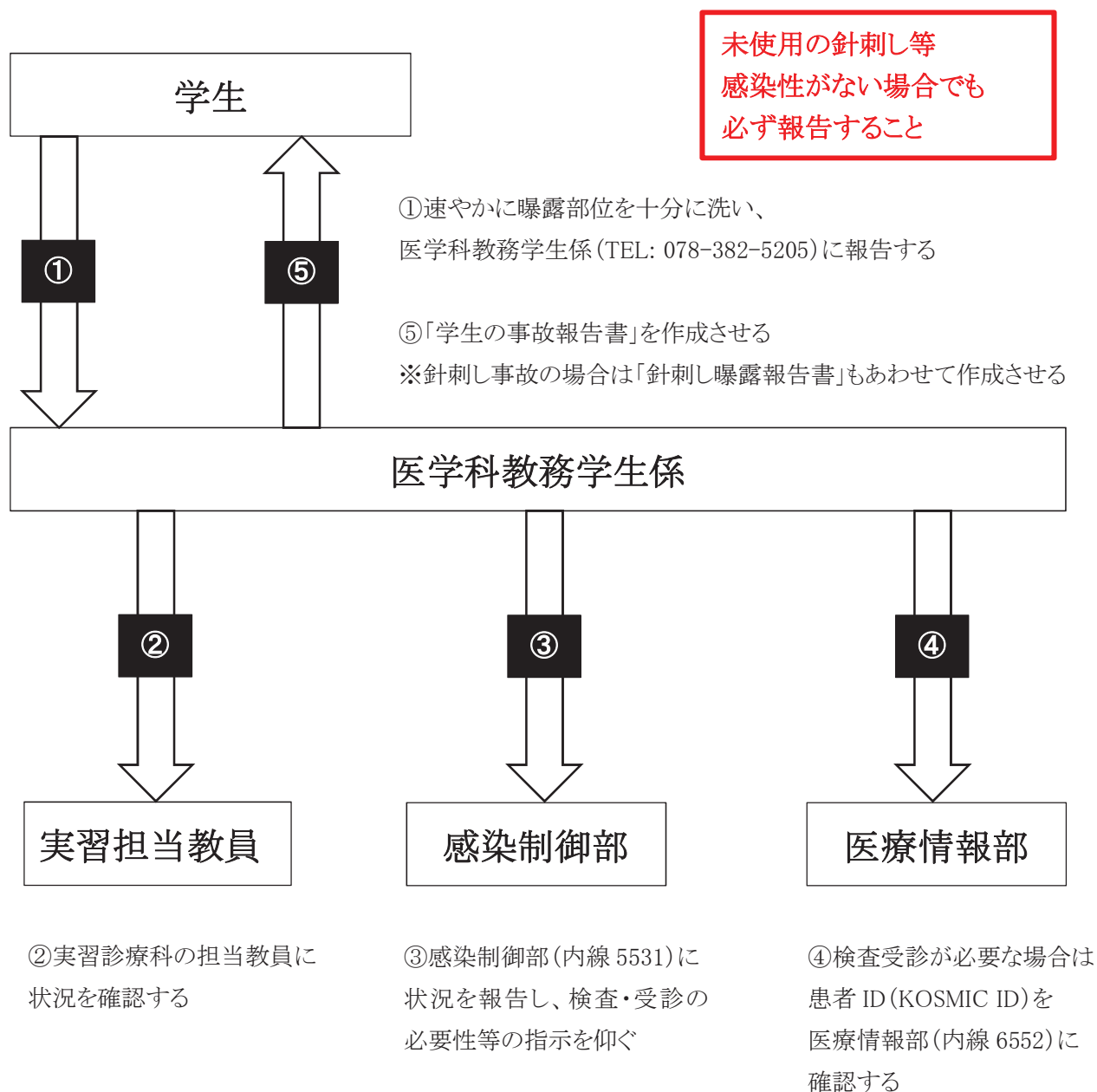
※4 指導医等の確認後に実行される必要がある

※5 酸素投与を実施している患者が対象

※ただし、必修項目として治療に挙げられている「処方薬(内服薬、注射、点滴等)のオーダー」については、政令により、処方箋の交付は医学生が実施できる医行為から除かれていることから、処方薬の計画と処方箋の下書きにとどめる必要がある。

(令和4年9月7日 決定)

医学科臨床実習における血液・体液による針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露後の報告フローチャート



◆対応にあたっての注意点◆

- (1) 出血が止まらないほどの受傷の場合は、**救命救急センター**を受診させる。
- (2) 曝露の可能性がある場合は、**感染制御部**の指示を仰ぐ。
- (3) 「針刺し曝露報告書」は、KOSMIC のアプリ「針刺し曝露報告書入力」から作成させる。

感染防止についての注意

- # 診察前後で必ず手洗いすること。
- # 標準的予防策（スタンダード・プリコーション）を守ること。
- # 血液・体液による針刺し・切創、粘膜皮膚曝露等による感染に十分注意すること。
 - ・もし暴露された場合には、速やかに暴露部位を洗うこと。
 - ・速やかに教員に報告すること。
- # 結核の排菌が疑われる患者に接触する場合は、マスク着用(N 9 5)すること。

2014 年 7 月 7 日

医学科学学生各位

病院長 藤澤 正人
感染制御部長 荒川 創一

臨床実習におけるアイ・シールド（ゴーグル）着用の遵守について

BSL 実習中に、患者血液・体液が飛散して、実習学生の眼に入る曝露事例が散見されます。これらの患者血液・体液への曝露は、針刺し・切創と同様、医療者が自らの細心の注意と防護手段とにより、防止しなければなりません。

当院では数年前から、5 年次 BSL 以降、臨床現場での実習を行う際に、眼に対する患者血液・体液曝露を防ぐためにアイ・シールド（ゴーグル）を適切に着用するよう指導しています。その要点をより具体的記述で以下に示します。

- ① 臨床実習に入る前に、学生はゴーグルを購入しておいて、実習中は常時、携帯することとする。（生協で裸眼用タイプと眼鏡の上から着用するタイプとが販売されている）
- ② 眼に対する曝露が起りやすい部署は、手術室、アンギオ室、救急部がその筆頭である。これらの部署で患者に対する医療行為を行っている際に、その作業に参加するか見学する場合は、ゴーグルを着用する。ただし、患者から概ね 1m 以上離れた場所で、モニターを見るなど、眼に曝露を受ける懸念が全くない場合は、その限りではない。
- ③ 通常の眼鏡はゴーグルの代用とはならない。周辺の隙間から、飛散物が眼に入ることは多々ある。眼鏡の上からゴーグルを着用する必要がある。

最近、BSL 実習中学生が、眼に患者血液・体液の飛散を受けた実例として、以下のようなものがあります、

- （1）救急部で、患者への気管内挿管を見学していて、気管分泌物が眼に飛散。
- （2）アンギオ室で、見学していて、患者動脈血が眼に飛散。
- （3）手術室で、手洗いして手術に参加。通常的眼鏡はつけていたが、下の隙間から患者血液が眼に飛散。
- （4）静脈や動脈の採血やルートの調整中に血液の混じった液が眼に飛散。
- （5）創部やドレーンの洗浄、抜去時に血液・体液の混じった液が眼に飛散。

自らが肝炎ウイルス等に感染しないための防護として、必ず遵守ください。

医学部医学科学生に対する個人情報の管理に関する指針

1. 神戸大学医学部医学科学生（以下「学生」という。）は「神戸大学個人情報管理規則」に準じて、個人情報の管理、保護に努めなければならない。
2. 学生が神戸大学医学部附属病院で実習を行う際には「神戸大学医学部附属病院の保有する医療に係る個人情報の適切な管理のための措置等に関する内規」に準じて個人情報の管理、保護に努めなければならない。
3. 学生が学外実習などにおいて、他病院又は他施設（以下「病院等」という。）において実習を行う場合は、当該病院等の個人情報保護に関する規則等を遵守すること。
4. 学生は医師ではないが、同等の守秘義務を守ること。

なお、上記の指針には下記の項目が含まれる。

1. アクセス制限：学生の病院情報端末上のアクセス権限は制限されている。
2. 複製等の制限：医療関係個人情報の複製、送信、あるいは媒体の外部への持ち出しは制限されている。
3. 媒体の管理：媒体の管理に留意し、コンピュータ、ワードプロセッサなどの外部からの不正アクセスの防止、コンピュータウイルスによる漏洩の防止、コンピュータ・記憶媒体等の盗難の防止に努めること。
4. 第三者の閲覧の防止：コンピュータ、データにパスワードをかけ第三者が閲覧できないように努めること

(注意事項)

1. 患者の個人情報に関しては、診療、研究、教育の目的に使用することを説明した上で、情報提供者に同意を得ているのであるから、上記の目的以外には使用してはならない。同意が得られなかった患者の個人情報については使用してはならない。
2. レポート等に患者情報を使用する際は、匿名化を厳重に行い、氏名、住所、生年月日、患者 ID 等の情報は使用してはならない。また、顔面のマスキング(目の部分を覆う)を行い、X線写真などから患者氏名、IDなどを画像上から消去すること。
3. 診療録や診療記録の当該病棟・部署からの持ち出しは制限されている。また、廊下や、食堂、エレベーターなどにおける会話も第三者に個人情報が漏れることがないように注意すること。
4. 病院等で行う実習において、当該病院等が指定する誓約書等の提出を求められた場合は必ず提出すること。

患者さんの個人情報の保護に関する注意

- # 患者さんの個人情報に関するものは、複製（コピー）は元より、電子媒体（デジカメでの撮影画像を含）での記録・外部への持ち出し等は厳しく制限されています。よって、携帯電話・スマートフォン・PC・USBメモリ等の中に、患者さんのカルテ情報（画像）・退院サマリ等個人情報にあたるデータを取り込む等の行為は一切できません。
- # 個人情報（個人が特定できる状態のデータ）を医療情報システム外に持ち出すこと自体、規則違反（処罰対象）になります。電子媒体を持ち出し・保持しないよう十分留意してください。
- # 患者さんの個人情報に関わる電子媒体を保持することは、オンラインストレージ・クラウドサービス利用時におけるID／パスワードの流出や、端末へのウィルス感染等により、個人情報漏えいに繋がり兼ねず、非常に危険であることを理解してください。
- # 医療情報システムを取り扱うパソコン上で、医療情報利用カードの番号に紐付けされた‘マイドキュメントフォルダ‘を用意しています。担当患者さんの情報を一時的に取り扱う際に利用できます。学習の一助として下さい。

電子カルテ端末以外の端末を用いて臨床実習教育を受ける際の注意

医学部では、院内電子カルテ端末と皆さんの端末との間を完全に暗号化した上で電子カルテ端末上の映像を配信するしくみ(*)を用い、患者さんの承諾のもと、個人情報を用いた教育を行います。受信する端末上で表示するWebブラウザ以外に情報が漏えいしないように、上記、患者さんの個人情報の保護に関する注意に加えて、以下の事項を厳守しなければなりません。

- # 使用する端末は、可能な限りクリーン（OSと学習に必要なソフトウェア以外が稼働していない）な端末を用い、最低限のセキュリティ対策を行っておくこと。受講中は不要なソフト（常駐ソフト含む）は終了しておくこと。
- # 受講中の映像、音声は、故意にではなくても、あなた以外の周囲の人の耳目に決して触れないように留意してください。
- # 講義の配信を受ける際には講義中の患者さんに関する情報の映し出された画面等のスクリーンショット、動画撮影は、学習の為であっても決して行ってはなりません。この行為は、個人情報を医療情報システム外に持ち出すことに相当し、規則違反（処罰対象）になります。
- # 講義中のメモやレポート等を電子カルテ端末以外で作成しようとする場合は、個人情報とならないように留意してください。疾患の希少性等から、個人情報に該当する懸念がある場合は、暗号化などの対処を行うこと。

(*)この仕組みを用いる場合においては、医療情報端末の画面が皆さんの端末のWebブラウザまで延長したものとみなされ、「医学部医学科学生に対する個人情報の管理に関する指針」の「医療関係個人情報の複製、送信、あるいは媒体の外部への持ち出し」には該当しないものとみなします。

患者さんの個人情報の保護に関する
誓 約 書

神戸大学医学部附属病院長 殿

私は、神戸大学医学部学生として、医学部医学科学生に対する個人情報の管理に関する指針を十分に理解し、これを遵守いたします。

私は、在学中はもちろん、卒業、退学後においても、就学上知り得た患者さんの個人情報を、正当な事由なく第三者に漏らしません。

以上、誠実に遵守することを誓います。

令和 年 月 日

所 属 神戸大学医学部医学科

整理番号 _____

学籍番号 _____

氏 名 _____

医療情報端末利用に関する
誓約書

神戸大学医学部附属病院長 殿

私は、神戸大学医学部学生として、医療情報端末利用において、下記のことを遵守いたします。

また、遵守事項に違反した場合の処罰に従うことを誓います。

記

- 担当患者さんの情報のみを見ることとし、それ以外の情報は見ないこと。
- 医療情報利用カードを損傷した場合は自己負担による弁償を行うこと。

以上、誠実に遵守することを誓います。

令和 年 月 日

所 属 神戸大学医学部医学科

整理番号 _____

学籍番号 _____

氏 名 _____

リモート端末を用いた臨床実習教育の履修に関する誓約書

神戸大学医学部附属病院長 殿

私は、神戸大学医学部学生として、リモート端末を用いた臨床実習教育の履修に際して、下記のことを遵守します。

また、遵守事項に違反した場合の処罰に従うことを誓います。

記

- 個人の端末を用いる場合には推奨されるセキュリティ対策を担保すること。
- 履修時には、必要なアプリケーション以外は終了しておくこと。
- 履修時には、スピーカー等を通して、周辺の履修者以外が臨床実習用医療情報（＊）に触れることがないようにすること。
- 履修中に、臨床実習用医療情報（＊）の映し出された画面等のスクリーンショット、動画撮影、録音は、学習の為であっても行わないこと。また、外部にも転送をしないこと。
- 学修のために端末上に記録を作成する場合には、個人情報とにならないように留意すること。

（＊）臨床実習用医療情報とは、医療情報端末や教育用電子機器からセキュリティ等、基準を満たした方法にて、学生に発信された患者個人情報・動画・画像・音声をいう。

以上、誠実に遵守することを誓います。

令和 年 月 日

所 属 神戸大学医学部医学科

整理番号 _____

学籍番号 _____

遠隔での診療・教育および研究のための撮影・映像送信に関する

説明書・同意書

患者 ID

患者氏名

遠隔での診療・教育および研究のための撮影・映像送信に関する説明書

神戸大学医学部附属病院では、患者さんに対して適切な診療を行うことを最優先にしておりますが、そのためには多くの医療スタッフ間での情報共有が必要です。また、当院では診療以外にも研修医などの医療者に加え、医療系大学の学生に対する臨床教育を行っています。さらに医学医療の発展のための医学研究も大学病院の重要な使命として社会から求められています。

情報通信技術の進歩に伴い、映像や音声をタブレットなどの電子端末を用いて離れた場所で共有すること（遠隔視聴）が可能になりました。直接対面するケアスタッフが、患者さんの診察や治療の様子を撮影し、同時に遠隔区域に映像を送信することで、多くのスタッフが患者さんの状態を同時に確認できることになり、治療方針決定に役立てることが出来ます。また、患者さんの個人情報に十分に配慮した上で活用することで、卒後研修や臨床実習などの医学教育にも役立てることが出来ます。

使用させていただく映像は、原則的に当院及び神戸大学内で閉じたネットワーク内で共有され、医療情報システム（電子カルテ）と同等のセキュリティが担保されています。院外の外部端末による遠隔視聴では、通信内容はガイドラインに準じて厳密に暗号化されており、視聴する外部端末は電子カルテ端末の画面の延長とみなせる様に安全性を確保しています。また学生が映像を視聴する場合は当院の個人情報保護に関する規則等を遵守すること、医療者と同等の守秘義務を守ることを誓約した者のみが利用することにします。

院内端末で保存した画像を将来研究に使うこともあるかもしれませんが、その際は改めて同意を戴けた場合のみに限定し、名前など個人を特定できる情報は一切除去した上、複数の情報を組み合わせても個人が特定できないように加工するなど、プライバシーに最大限の配慮を行います。

大学病院の特殊性を考慮しご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、希望があれば撮影はいつでも中断できますし、保存の拒否および保存された記録の消去はいつでも可能です。もし同意いただけない場合でもそれによって診療上の不利益を被ることは一切ありません。

遠隔での診療・教育および研究のための撮影・映像送信に関する同意書

私は、診療を担当する _____ 科 _____ 医師によって、上記説明を受け理解しました。診察や治療の様子を撮影すること、その映像を診療、教育、研究に役立てるために遠隔区域に送信すること、個人情報が確実に保護されることを条件に教育・研究目的で保存されることに同意します。

[年 月 日]

神戸大学医学部附属病院長 殿

患者氏名

印

代理人氏名

印

患者との続柄 [

]

*代理人署名になった理由

**4年次チュートリアル授業及び5年次BSL授業における
欠席の取り扱いに関する申合せ**

1. 4年次チュートリアル授業の欠席について

チュートリアル授業は、連続して約2週間の欠席が2回以内であれば進級を認めることがある。(急性の重い病気及び不慮の事故等のやむを得ない理由を含む。)

2. 4・5年次BSL授業の欠席について

BSL授業は、連続して約3週間以内の欠席であれば進級を認めることがある。
(急性の重い病気及び不慮の事故等のやむを得ない理由を含む。)

3. 欠席届に添付する診断書の処理について

学生は、欠席届及び診断書の本紙を学務課に提出し、学務課から欠席届及び診断書のコピーを欠席する当該サブユニットの教授及び教務担当教員に送付する。

なお、病気以外の理由で診断書を提出できない場合は、診断書の代わりとして理由書を提出する。

【第一病棟】

RF	屋上ヘリポート
11F	11階北・11階南 スタッフステーション、病室
10F	10階北・10階南 スタッフステーション、病室
9F	9階北・9階南 スタッフステーション、病室
8F	8階北・8階南 スタッフステーション、病室
7F	7階北・7階南 スタッフステーション、病室

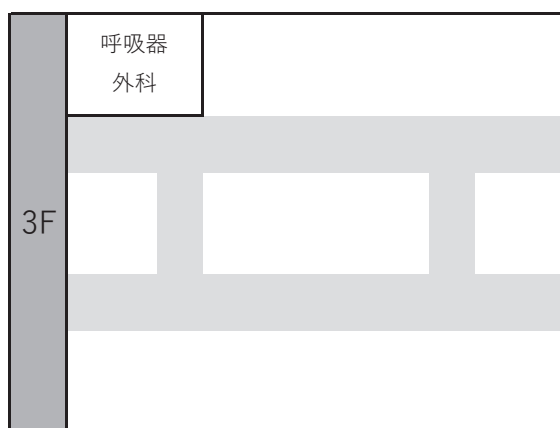
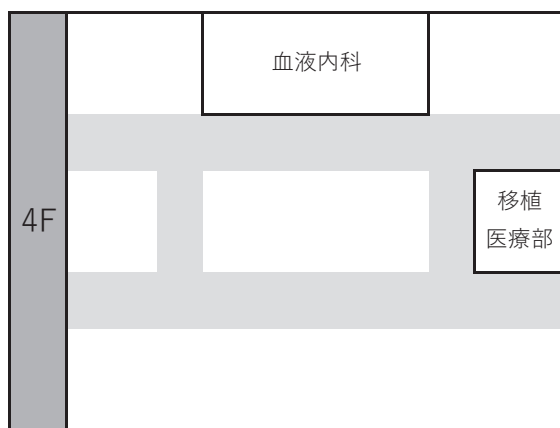
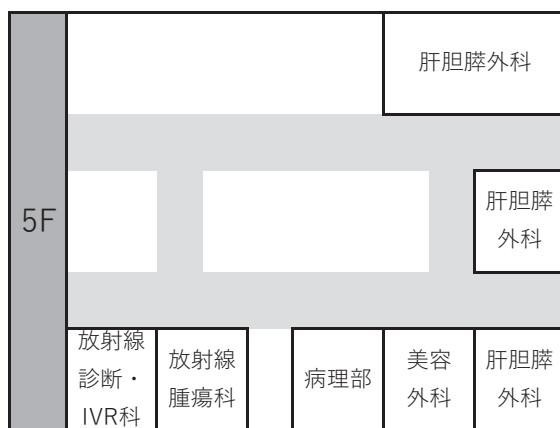
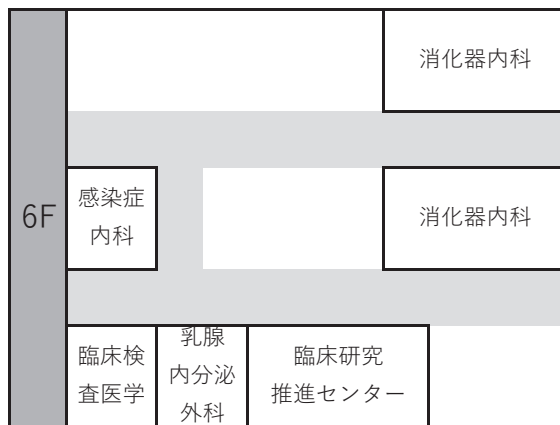
【中央診療棟】

【外来診療棟】

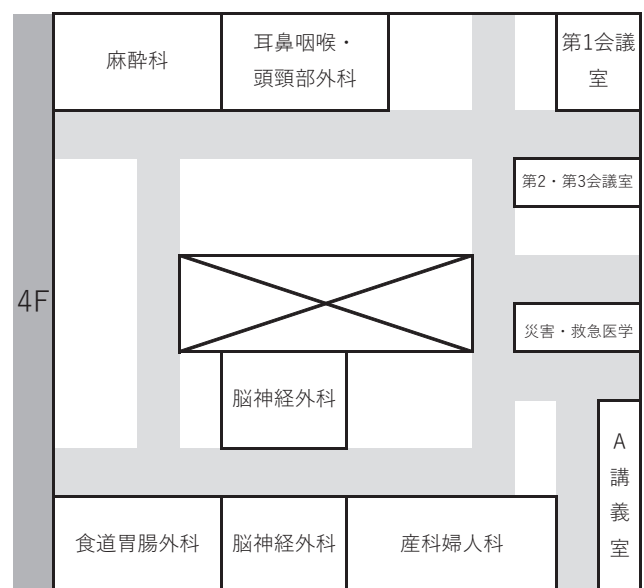
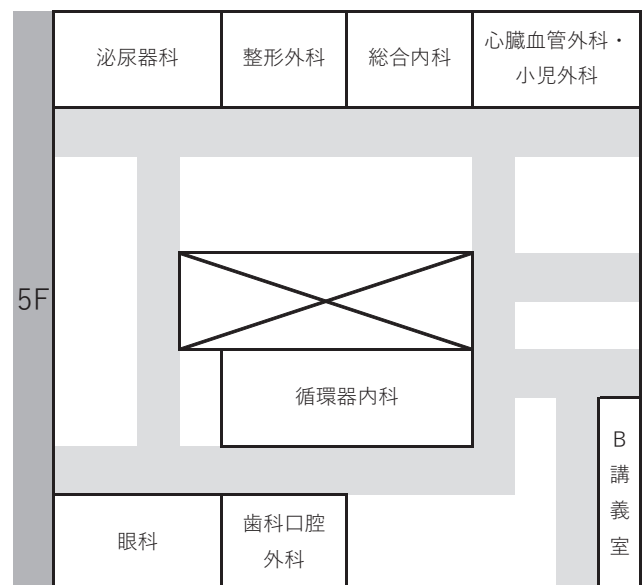
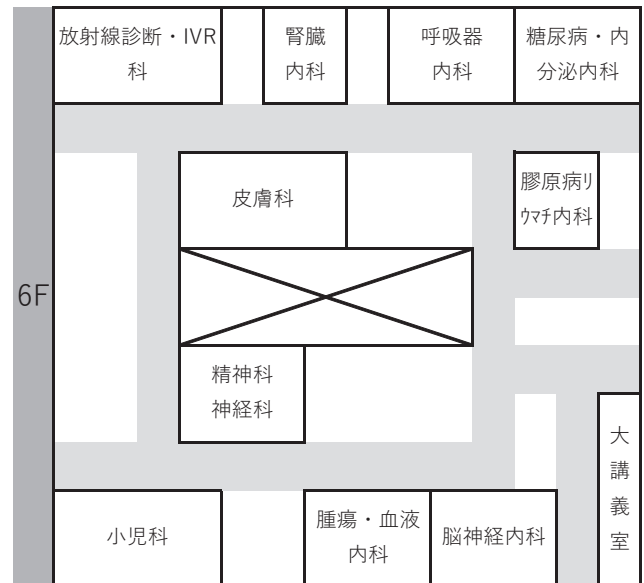
(0 7 5 棟)										
9F					(高エネルギー診療棟)	6F	糖尿病・内分泌内科学, 腎臓内科学, 脳神経内科学, 腫瘍・血液内科学, 放射線診断学, 小児科学, 皮膚科学, 精神医学, 立証検査医学 (シスメックス) 大講義室	6F	スタッフステーション, 病室	
8F		(低侵襲総合診療棟)				5F	循環器内科学, 総合内科学 心臓血管外科学, 小児外科学 整形外科, 眼科学, 腎泌尿器科学, 口腔外科学 B 講義室	5F	5階北・5階南 スタッフステーション, 病室	
7F	形成外科学						←接続→			
6F	医療情報部 〔医事課〕 医療情報係	4F					総合周産期母子医療センター(産科婦人科外来, 新生児集中治療室 (NICU, GCU), 産科病棟(MFICU))	4F	食道胃腸外科学, 脳神経外科学, 耳鼻咽喉科頭頸部外科学, 産科婦人科学, 麻酔科学, 災害・救急医学 第1会議室、第2会議室、第3会議室 A 講義室	4階北・4階南 スタッフステーション, 病室
5F	総合臨床教育 センター 研修医室						←研究棟 A 棟と裏口廊下で接続 ←接続→			
4F	輸血・細胞治療部	3F			手術部	看護部, 手術部 臨床研究推進センター 〔外来〕精神科神経科, 耳鼻咽喉・頭頸部外科, 形成外科, 美容外科, リウマチセンター	3F	救急・集中治療センター (ICU, HCU) 腎・血液浄化センター (人工透析室)		
3F	不整脈センター 医療技術部長室	2F			光学医療 診療部 腫瘍センター (腫瘍・血液内科, 通院治療 室, サテライト薬局) 麻酔科・ペイン クリニック科 遺伝子診療部	検査部	放射線部	リハビリテーション部 親と子の心療部 〔外来〕内科, 外科, 脳神経外科, 小児科, 皮膚科, リハビリテーション科	2F	〔外来〕歯科口腔外科 口腔機能管理センター 緩和ケアセンター 院内学級 医療の質・安全管理部 栄養相談室 患者支援センター IMCC 〔患者サービス課〕
2F	感染制御部 検査部 (超音波検査室)							←接続→		
1F	救急部 臨床研究推進 センター 感染制御部	1F			放射線部 (レントゲン検査, CT 検 査, IVR) 〔外来〕 放射線腫瘍科	放射線部 (MR 検査, リニア ック) 〔外来〕 放射線腫瘍科	1F	総合案内, 外来予約センター (CT・ MR・PET・アイソトープ), 医療相談 室, 証明書発行窓口, ATM 救急部, 国際診療部, がん相談室, くすのき CLUB 〔外来〕総合内科, 泌尿器科, 眼科, 看護外来 患者支援センター (総合相談窓口) 〔医事課〕 〔患者サービス課〕	1F	〔外来〕整形外科, リハビリテー ション科, 放射線診断科・IVR 科 物流センター (医療材料・ME 機器・リネン) 〔管理課〕物流管理係 患者支援センター 防災センター, ホスピタルホール, ボランティア室 喫茶, コンビニ, 売店 (衛生材 料), 宅配便, 図書コーナー
B1F		B1F			放射線部 (アイソトープ検査室)		B1F	薬剤部, カルテ室, 医療情報部 職員・外来食堂, 理容室, 美容室 〔医事課〕	B1F	栄養管理部 物流センター (ベッド)

病棟・医局等の配置案内図

臨床研究棟 A



外来診療棟



【4・5年次
臨床実習1(BSL)出席表】

班名・グループ名：
整理番号・学生氏名：

月 日	曜日	サブユニット名・ 担当診療科名	実 習				講 義				備 考	
			午前		午後		午前		午後			
			実習概要等	出席 確認	実習概要等	出席 確認	講義題目等	出席 確認	講義題目等	出席 確認		
月 日	(月)											
月 日	(火)											
月 日	(水)											
月 日	(木)											
月 日	(金)											
月 日	(月)											
月 日	(火)											
月 日	(水)											
月 日	(木)											
月 日	(金)											

【その他連絡事項等】

【4・5年次臨床実習1(BSL)出席表（ひな形）の記入サンプル】

月 日		曜日	サブユニット名・ 担当診療科名	実 習						
				午前		午後		午前		
				実習概要等	出席 確認	実習概要等	出席 確認	講義題目等	出席 確認	
4月	9日	(月)	総合内科	オリエンテーション	秋田	医療面接	秋田	〇〇題目等〇〇	秋田	〇〇題目等〇〇
4月	10日	(火)	総合内科	回診	秋田	回診	秋田			
4月	11日	(水)	総合内科	学外実習	秋田	学外実習	秋田			
4月	12日	(木)	総合内科	BSL	秋田	BSL	秋田			〇〇題目等〇〇
4月	13日	(金)	総合内科	手術見学	秋田	手術見学	秋田	〇〇題目等〇〇	秋田	
4月	16日	(月)	総合内科	回診	秋田	回診	秋田	〇〇題目等〇〇	秋田	〇〇題目等〇〇
4月	17日	(火)	総合内科	欠席		欠席		欠席		欠席
4月	18日	(水)	総合内科	BSL	秋田	BSL	秋田	〇〇題目等〇〇	秋田	
4月	19日	(木)	総合内科	手術見学	秋田	手術見学	秋田			医学英語
4月	20日	(金)	総合内科	BSL	秋田	BSL総括 口頭試験	秋田			
【その他連絡事項等】										

・参考例の総合内科は2週間単位で実習を行っています。(1週間単位で実施のサブユニットの場合は上段のみを使用します)
・学生の欠席は、無断欠席でない限り、医局等に事前連絡があります。その後、学務課へ欠席の証票類を添え欠席届を記入に来ることとなっています。

BSLにおける出席確認について

この様式は、各科の実状に応じて自由に変更することができます。

1. 臨床実習1(BSL)では、各科において出席を取るものとします。出席の取り方は、サブユニット担当各科が任意の方法で行います。
2. 出席表を用いて出席確認をする場合、出席表の様式は任意とします。様式の用意が無い場合には、本ガイドブックの出席表ひな形を用いることができます(ガイドブックの該当ページをコピーして使用)。
3. 無断欠席した学生は科目別試験を受験できません(神戸大学医学部医学科専門科目試験内規による)。

※ ひな形を加筆・修正して用いる場合に備え、学務課教務学生係(kyomu1@med.kobe-u.ac.jp)に電子データを用意しています。必要な場合はご連絡ください。

4・5年次臨床実習1(BSL)に向けた目標(班)

4・5年次臨床実習1(BSL)に向けた目標(個人)

神戸大学医学部医学科卒業時コンピテンシー

I. 礼儀・態度

患者や医療従事者等に対して良好な人間関係を構築することができる。

- I-1 医師としての責任を持ち、謙虚に自らを律して行動する。
- I-2 医師としての業務に限らず、医師・医療人としての責務および社会からの期待を意識し適切に行動する。
- I-3 患者および家族に対し、利他的、共感的に接しながら誠実に対応する。
- I-4 患者の苦痛や感情に配慮しながら、患者と家族に対して誠実で適切な支援を行う。
- I-5 患者や家族の心理・社会的背景を理解し、誠実な態度で適切な信頼関係を築くことができる。
- I-6 わかりやすい言葉を使いながら、冷静に思いやりを持って患者に安心感を与え癒すことができる。
- I-7 必要な情報を共有しながら正確な意思疎通を行い、医療チーム内の信頼関係を構築する。
- I-8 患者の主体性を尊重しながら、医療行為の必要性・内容・危険性・他の選択肢等を患者に説明し、理解と納得に基づく同意を得る。

II. 科学的探究心

生命科学に対する探究心と感性をもち、科学的思考能力と創造性をそなえている。

- II-1 生命現象に対する好奇心から、それを理解しようとしたり、解明しようとしたりする志向性をもつ。
- II-2 科学的情報を批判的に思考する姿勢をもつ。
- II-3 医学・医療において既存の知識・技能では対応できない問題点を抽出し、それらを解決する過程に参画することができる。
- II-4 研究成果を、科学的方法に則って記述し、適切な形で社会に発信できる。

III. 知識と技能

基礎と臨床のバランスのとれた知識をもち、的確な臨床推理能力を有している。病態を理解し、それに即した基本的技能を修得している。

- III-1 生命の成り立ちを、基礎医学の学修を通じて理解している。
- III-2 基礎医学の知識を、疾患の病因・病態・症候等の理解に応用できる。
- III-3 社会医学の知識を、医療・保健活動に応用できる。
- III-4 人間の生涯にわたる行動と心理の特性を理解し、適切な対応と医療を提供できる。
- III-5 国民皆保険の意義を理解し、保険診療に関する法令に従って、医療の経済性に配慮しながら診療を行うことができる。
- III-6 高頻度または重要な疾患について、疫学・病因・病理・病態・症候・診断・治療・予後の知識を修得し、適切な診療ができる。エビデンスを吟味し臨床判断に応用できる。
- III-7 患者の立場を尊重し、病歴を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行う。
- III-8 網羅的に系統立てて効率的な身体診察を行い、所見を認識・記録し、適切な鑑別診断を行う。
- III-9 基本的な臨床技能について、適応、実施方法、合併症等を理解し、適切な態度でこれを安全に実施できる。
- III-10 患者の苦痛や感情に配慮しながら、患者と家族に対して誠実で適切な支援を行う。
- III-11 診療録についての基本的な知識を修得し、問題志向型診療記録形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。
- III-12 患者の病状、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と情報共有ができる。
- III-13 緊急を要する病態や疾病・外傷の基本的知識を修得し、医療チームの一員として救急医療に参画する。
- III-14 慢性疾患の病態・経過・治療を理解し、医療を提供する場や制度に応じて、医療チームの一員として慢性期医療に参画する。
- III-15 医療関連感染の予防対策を実践し、発生時の初期対応ができる。
- III-16 医療における患者や医療者の安全を守るために、個人的・組織的な対応ができる。
- III-17 組織や自身が実施している医療の質や安全管理について常に振り返り、その改善と向上を図る。

IV. 倫理観

確固とした倫理観をもちつつ、周囲との連携の中で自己を変革し続けることができる。

- IV-1 医療人としての倫理に関する基本的な知識を修得し、社会の変遷を踏まえつつ、常に自己の行動を律することができる。
- IV-2 生命の尊厳を理解しつつ、研究倫理に関する基本的な知識を身につけて、それに沿って適切な研究活動を行うことができる。
- IV-3 医療者として常に利益相反が生じる可能性を認識し適切に対処できる。患者のプライバシーを尊重し守秘義務を果たす。

V. 向上心

自ら目標を設定し、課題を抽出し、解決に向けた取り組みができる。長期的な展望にたち、有為の人材た然とする気概をもっている。

- V-1 進歩し続ける医療において、常に最新・最善の医療を提供するために、生涯にわたり継続して学ぶ。
- V-2 自身に対するフィードバックを受入れ、常に自らの知識・能力・振舞いを省察し、自己の向上に努める。
- V-3 医学・医療を志すものとしての自覚から、社会の発展に寄与するという高い意識をもつ。

VI. リーダーシップ

多様性を受容できる人間性をもち、リーダーシップを発揮して地域社会に貢献できる。

- VI-1 同僚や専門領域が異なる医師の業務を理解し、役割分担・情報共有・意思疎通・相談等を円滑に実行できる。
- VI-2 同僚や関係者間で建設的なフィードバックを行い、共に教えあい学びあう。
- VI-3 後進の模範となるように、自身の態度や表情・雰囲気のもつ影響も十分認識しつつ、後進の育成に努める。
- VI-4 医療チーム構成員それぞれの役割を理解し尊重しながら、患者中心の最良の医療・介護を提供するために連携することができる。
- VI-5 最良の医療を提供するために、構成員間の意見の相違や軋轢を調整し、円滑で効果的なチーム医療を先導する。
- VI-6 社会と健康・疾病の関係を理解し、疾病予防や健康増進の活動に参加する。
- VI-7 地域社会における地域包括ケア・救急医療・在宅医療・健康増進活動等を理解し、その活動に参加する。
- VI-8 地域の保健・医療・介護・福祉の制度とシステムを理解し、自身の活動現場においてその知識を活用できる。
- VI-9 災害医療の特殊性とそれに関与する組織(DMAT・JMAT等)についての知識を修得し、災害発生時には適切に行動して社会や地域に貢献できる。

VII. 国際性

広範な情報を収集・分析することができ、適切な議論ができる語学力と国際性を身につけている。

- VII-1 国際人としての教養を備え、健康や疾病に関する国際的視野をもつ。
- VII-2 医学・医療に関する事柄を、英語を用いて理解・表現・意見交換ができる。
- VII-3 学んだことや研究・実習の成果を英語にて発信することができる。
- VII-4 知りたいことを明らかにするための情報収集に必要な種々の手段や媒体を使いこなし、集めた情報を整理・分析することができる。